令和５年度

入 学 要 項

＜出願期間＞

４月入学（前期）

正科生（教職生含む）　令和４年12月10日（土）～令和５年５月31日（水）

科目履修生　令和５年２月１日（水）～令和５年４月10日（月）

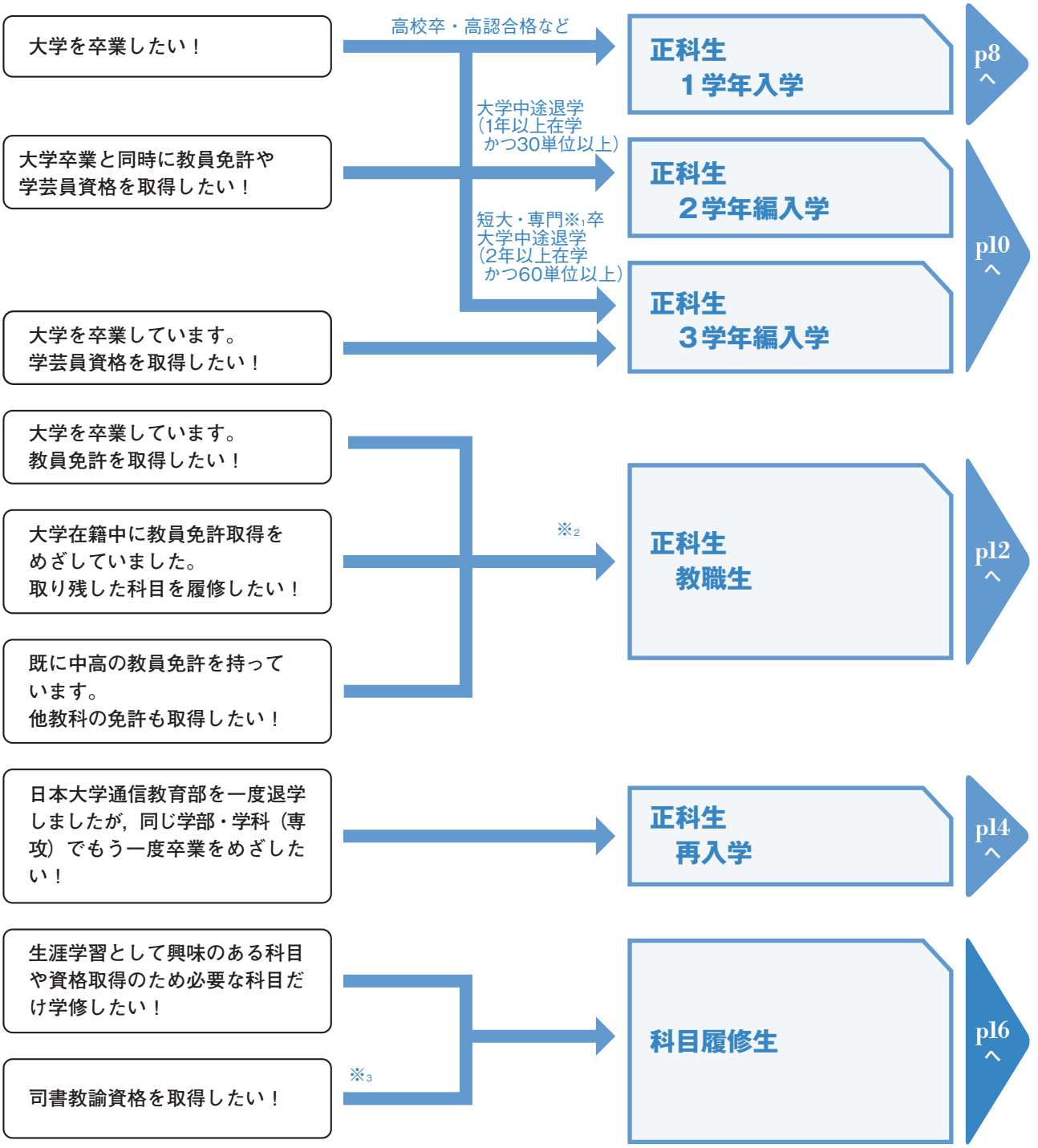
10月入学（後期）

正科生（教職生含む）　令和５年７月10日（月）～令和５年10月31日（火）

※科目履修生の募集は行いません。

日本大学通信教育部

入学目的別フローチャート



（備考）

※1 一定の条件を満たす専門学校に限ります。４ページ「４．専門学校を修了された方の編入学について」を参照してください。

※2 残りわずかな単位数を修得する場合は科目履修生として入学するという方法もあります（教育実習，教職実践演習，介護等体験等を既に修得している場合に限ります）。

※3 司書教諭は教員免許状を所持して初めて有効となる資格です。本学にて教員免許状を併せて取得する場合は正科生で入学する必要があります。

目　次

1 募集要項 …… 2
1　学科（専攻）と募集定員
2　入学時期と出願期間
3　選考方法

2 入学に関する注意事項 …… 3
1　スクーリング等を希望する場合の出願書類の締切日について
2　インターネット環境の用意について
3　二重学籍の禁止について
4　専門学校を修了された方の編入学について
5　日本国外の学校に在籍されたことがある方の入学について
6　国内在住の外国籍の入学について
7　海外在住者の入学について
8　大学を中途退学された方の編入学について
9　教職生について
10　再入学について
11　科目履修生の出願について（4月入学のみ募集）
12　障がいのある方の入学について
13　入学諸費用の返還について
14　本学通信教育部科目履修生で在籍したことがある方へ
15　その他

3 出願から学修開始までの流れ …… 7

4 正科生（1学年入学）の出願 …… 8
1　出願資格
2　出願書類
3　修業年限・在学年数
4　入学時に必要な納入金（入学諸費用）
5　入学後の主な納入金

5 正科生（2・3学年編入学）の出願 …… 10
1　出願資格
2　出願書類
3　修業年限・在学年数
4　編入学の単位換算認定基準
5　入学時に必要な納入金（入学諸費用）
6　入学後の主な納入金

6 正科生（教職生）の出願 …… 12
1　出願資格
2　出願書類
3　入学学年と在学年数
4　編入学の単位換算認定基準
5　入学時に必要な納入金（入学諸費用）
6　入学後の主な納入金

7 正科生（再入学）の出願 …… 14
1　再入学資格
2　出願書類
3　再入学年
4　修業年限・在学年数
5　再入学時の単位認定基準
6　入学時に必要な納入金（入学諸費用）
7　入学後の主な納入金
8　その他

8 科目履修生の出願（4月入学のみ募集） …… 16
1　出願資格
2　出願書類
3　在学年数・履修単位の上限
4　入学時に必要な納入金（入学諸費用）
5　入学後の主な納入金
6　履修制限等について
7　継続手続を行う場合
8　教員免許状取得に必要な履修科目の把握について
9　所属形態について
10　正科生に入学した際の単位認定について
11　登録科目の申請について
12　学修計画のアドバイス

9 出願資格証明書の提出について …… 19

10 出願書類の記入について …… 20
1　「入学志願書」の記入上の注意
2　「入学志願書」の記入例
3　「学籍簿」の記入上の注意
4　「学籍簿」の記入例
5　「保証書」の記入上の注意
6　「保証書」の記入例
7　志望理由書の記入上の注意
8　「入学登録カード」の記入上の注意
9　「入学登録カード」の記入例
10　三菱UFJ銀行ATMでの振込のお取扱いについて
11　三菱UFJ銀行以外のATM，各金融機関のインターネットバンキングを利用して振込を行う場合

11 卒業について …… 28
1　卒業所定単位
2　卒業に必要なスクーリング単位
3　卒業及び学士の学位

12 授業科目一覧 …… 29

13 単位修得方法について …… 34

14 資格取得について …… 35
1　教職コース
2　司書教諭コース
3　学芸員コース

15 Q&A ここが知りたい …… 40
1　入学について
2　学修について
3　卒業について
4　教職コースについて
5　司書教諭コースについて
6　学芸員コースについて

16 目的達成までの学費について …… 48
1　入学から卒業までに要する最低学費の概算
2　入学から資格取得までに要する最低学費の概算
3　目的を達成した（卒業・教職）学生の履修モデル

17 日本大学教育憲章 …… 50

18 日本大学通信教育部教育方針 …… 51

1 募集要項

1. 学科（専攻）と募集定員

学生の種類	入学年　等	学部	学科（専攻）	募集定員
正科生	1学年入学 2学年編入学 3学年編入学 教職生 再入学	法学部	法律学科 政治経済学科	3,000名
		文理学部	文学専攻（国文学） 文学専攻（英文学） 哲学専攻 史学専攻	3,000名
		経済学部	経済学科	1,500名
		商学部	商業学科	1,500名
科目履修生				若干名

（備考）
● 志望する学部・学科（専攻）の変更は認めません。ただし，２年次・３年次への進級時に所定の単位数を修得している場合には変更が可能です（条件あり）。

2. 入学時期と出願期間

入学時期	入学日	学生の種類	出願期間（必着）
4月入学（前期）	4月1日	正科生（教職生含む）	令和４年 12月10日（土）～令和５年 ５ 月31日（水）(注)
		科目履修生	令和５年 ２ 月 １ 日（水）～令和５年４ 月10日（月）(注)
10月入学（後期）	10月1日	正科生（教職生含む）	令和５年 ７ 月 10日（月）～令和５年10月31日（火）(注)

（注）入学初年度に科目修得試験やスクーリング，メディア授業を希望する場合，必ず次項（3 ページ）をご確認いただき，余裕をもってご出願をお願いします。
入学許可後，スクーリング等を受講希望の方は申し込みが必要となりますので，手続きをしてください。

（備考）
● 出願期間は消印有効ではなく必着です。
● 出願は必ず本学所定の封筒（「令和５年度入学出願用封筒」：灰色の封筒）を使用し郵送してください。
● 原則として，提出された出願書類は返却しません。

3. 選考方法

出願書類により書類選考の上，入学を許可します。入学試験はありません。
（必要に応じて面接を行うことがあります）
選考の結果は入学許可書類の発送をもって代えさせていただきます。
選考の結果，入学不許可となった場合には，選考料を除く入学諸費用を返金します。
入学不許可の理由についての問い合わせには応じられません。
また，提出された入学手続書類は返却いたしません。

2 入学に関する注意事項

1. スクーリング等を希望する場合の出願書類の締切日について

本学は出願が完了した方から随時選考及び入学の許可を行っています。したがって，早期に出願するほど，入学の許可が早くなり，学修も早期に開始できます。

入学期		出願書類受付期間（必着）	入学許可書類発送予定日	入学許可後に申込み可能なスクーリング等										
				入学式	昼間スクーリング（前期）	夜間スクーリング（春期）	メディア授業（前期）	東京スクーリング（6月期）	第2回科目修得試験 6月26日	東京スクーリング（6月期）	地方スクーリング（7月期）	夏期スクーリング	昼間スクーリング（体育実技）	後期以降のスクーリング・メディア授業・科目修得試験
4月	①	12月10日（土）～1月13日（金）	1月26日（木）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	②	1月14日（土）～2月17日（金）	3月2日（木）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	③	2月18日（土）～3月10日（金）	3月23日（木）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	④	3月11日（土）～3月31日（金）	4月7日（金）		○※	○※	○	○	○	○	○	○	○	○
	⑤	4月1日（土）～4月14日（金）	4月26日（水）						○	○	○	○	○	○
	⑥	4月15日（土）～4月26日（水）	5月10日（水）						○	○※	○	○	○	○
	⑦	4月27日（木）～5月12日（金）	5月24日（水）								○	○	○	○
	⑧	5月13日（土）～5月31日（水）	6月12日（月）								○※	○	○	○

入学期		出願書類受付期間（必着）	入学許可書類発送予定日	入学許可後に申込み可能なスクーリング等								
				昼間スクーリング（後期）	夜間スクーリング（秋期）	メディア授業（後期）	東京スクーリング（10月期）	地方スクーリング（11月期）	東京スクーリング（11月期）	第4回科目修得試験 12月3日	東京スクーリング（2月期）	令和6年度以降のスクーリング・メディア授業・科目修得試験
10月	①	7月10日（月）～7月24日（月）	8月2日（水）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	②	7月25日（火）～8月28日（月）	9月6日（水）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	③	8月29日（火）～9月8日（金）	9月21日（木）	○※	○※	○※	○※	○	○	○	○	○
	④	9月9日（土）～9月29日（金）	10月12日（木）					○	○	○	○	○
	⑤	9月30日（土）～10月13日（金）	10月25日（水）								○	○
	⑥	10月14日（土）～10月31日（火）	11月15日（水）								○	○

（備考）

- 出願書類に不備がある場合は，不備が解消された日付での受付となります。
- 科目修得試験，スクーリング，メディア授業を受験・受講するには入学許可後，別途手続きが必要です。詳しくは入学許可書に同封する書類をご確認ください。
- スクーリング（メディア授業含む）併用試験方式（34ページ・C方式）によって単位修得をする場合は，さらに早期の出願を要します。入学年度最初の一部のスクーリングとメディア授業（4月生：前期，10月生：後期）はこの方法による単位修得はできません。
- ○印の横に※印が付与されている場合，スクーリング等の申込期間が非常に短くなるため，受付期間に関わらず，早めの出願を強く推奨いたします。
- 入学式（日本武道館）は4月入学生のみ，かつ上記表の「入学式」欄に「○」が付与されている場合のみ参加可能です。

2. インターネット環境の用意について

本学では，入学後の手続き，スクーリング・メディア授業の受講等で必ずインターネット環境が必要となります。インターネット環境をお持ちで無い方は，入学後に必ずご用意ください。なお，個々のインターネット環境に関するご相談は行っておりません。

3. 二重学籍の禁止について

学校教育法に定める短期大学・大学・大学院に在籍中の方は，本学には入学できません（専門学校は可）。
ただし，科目履修生については二重学籍の対象から除きます。
また，大学等によっては科目履修生でも二重学籍として捉える場合がありますので，在籍中の大学等に対し，本学と並行した在籍が可能かどうかを本人の責任のもとに必ず確認してください。
なお，在学中の方で入学を希望する方は入学課にご相談ください。

4. 専門学校を修了された方の編入学について

専門学校を修了された方の編入学は，学校教育法をはじめとする関連法規に則って受け入れています（２年以上の専修学校専門課程に限ります。１年制専門学校は対象とならず，単位認定も行いません）。
該当者は，別途『②専門学校修了者の編入学募集要項』により，編入学資格の有無を確認の上，出願してください。
詳しくはタイトル横のQRコードもしくは下記URLをご確認ください。
参考URL）https://dld.nihon-u.ac.jp/admission/request/

5. 日本国外の学校に在籍されたことがある方の入学について

海外の小学校・中学校・高等学校・大学・大学院に在籍されたことがある方は，小学校から現在に至るまでの学歴を本学で確認する必要があります。
該当者は，別途『③「日本国外の学校」出身者の入学審査について』を参照の上，出願してください。
なお，同用紙は「国内在住外国籍の方の募集要項」及び「海外在住者の募集要項」にも同封されています。
詳しくはタイトル横のQRコードもしくは下記URLをご確認ください。
参考URL）https://dld.nihon-u.ac.jp/admission/request/

6. 国内在住の外国籍の方の入学について

本学への入学を理由として「留学ビザ」の取得はできません。
入学を希望する場合には，「留学ビザ」以外で相当の年数，日本に在住できる適切な在留資格を有する必要があります。
該当者は，別途『④国内在住外国籍の方の募集要項』を参照の上，出願してください。
詳しくはタイトル横のQRコードもしくは下記URLをご確認ください。
参考URL）https://dld.nihon-u.ac.jp/admission/request/

7. 海外在住者の入学について

海外の居住地に大学からの郵送物を直接送付することが可能です（別途，海外郵送料として年額17,000円が必要となります）。
なお，対象者は，次の全ての条件を充足した正科生に限ります（科目履修生は不可）。

① 本学で実施するスクーリング・科目修得試験等の行事はすべて日本国内で行うため，これに参加できること（本学への入学を理由としての「留学ビザ」の取得はできません）。
② 外国籍の方は日本語能力試験2級又はN2以上を有すること。
該当者は，別途『⑤海外在住者の募集要項』を参照の上，出願してください。
詳しくはタイトル横のQRコードもしくは下記URLをご確認ください。
参考URL）https://dld.nihon-u.ac.jp/admission/request/
③ 入学後の年度授業料やスクーリング受講料納入の際，海外送金を希望される方は別途海外送金手数料の負担が生じます。あらかじめご注意ください。

8. 大学を中途退学された方の編入学について

大学を中途退学された方は学問領域に関係なく以下の条件を満たすことで編入学することができます。
①在学中の修得単位が30単位以上かつ休学期間を含めず１年以上在学⇒２学年編入学
②在学中の修得単位が60単位以上かつ休学期間を含めず２年以上在学⇒３学年編入学
※大学において修得単位が30単位未満で中途退学された場合及び短期大学を中途退学された場合は編入学の対象とならず，入学に際して単位認定も行いません。
なお，現在在学中の方で編入学を希望する方は，タイトル横のQRコードもしくは下記URLから『⑥大学在学中の方の出願について』をご確認ください。
参考URL）https://dld.nihon-u.ac.jp/admission/request/

【日本大学通学課程に在学中で通信教育部への入学（学籍の異動を含む）を検討されている方へ】
本学通信教育部と同学部（法・文理・経済・商学部の全学科）の通学課程に在籍していて，通信教育部の同一学部への入学を検討されている方は，「転籍」制度があります。また，全学部の通学課程から異なる学部へ異動する「転部」制度もあります。いずれも通学課程を退学することなく，日本大学の卒業をめざせる制度です。
詳しくは下記QRコードもしくはURLをご確認ください。
参考URL）https://dld.nihon-u.ac.jp/admission/transfer_form/

9. 教職生について

日本国内の大学を卒業された方で教員免許状取得を目的とし，本学の卒業を必要としない場合は「教職生」として出願してください。手続きは３学年編入学と同様です。
なお，入学後の履修登録の上限単位数等が通常の「３学年編入学」と異なります。

10. 再入学について

再入学とは，以前本学通信教育部に在籍しながらも卒業目的を達成できずに離籍（退学又は除籍）となった方が「前学籍と同一の学部・学科（専攻）に入学」し，「卒業をめざす」ために，再度本学通信教育部に入学することです。したがって，前述に該当しない方は，編入学・教職生又は科目履修生としての入学となります。
該当者は，14～15ページ「７．正科生（再入学）の出願」を参照し，出願してください。

11. 科目履修生の出願について（4月入学のみ募集）

出願には，別途「科目履修生募集要項」に記載の書類が必要です。
同要項は，資料請求の際に「科目履修生募集要項」の項目にチェックを入れていただくことで入学案内とともに送付いたします。
なお，海外在住者は科目履修生への出願はできません。

12. 障がいのある方の入学について

障害者差別解消法の施行に伴い，本学では基本方針・ガイドラインを制定し，学生支援室を中心に教務課，学生課，教員等が連携して障がいをもつ学生が他の学生と等しい条件のもと学生生活が送れるよう，様々な支援を行っています。しかしながら，個々人の障がい状況，入学後の学修計画により，配慮すべき内容が異なりますので，本学では合理的配慮の具体的な内容を定めておりません。障がいのある方と大学側の対話により配慮内容を決定していきます。したがって，大学の現状において必ずしもすべてに対応できるものではありません。
つきましては，障がいがあり，修学上，特別な配慮を必要とする方は以下の事項を参照の上，出願前のできるだけ早い時期に窓口又は電話により必ず入学課にお申し出ください。
大学所定の調査票のほか，障害者手帳，医師の診断書等の提出をお願いする場合や，必要に応じて市ヶ谷校舎にて面談を実施させていただくことがありますので，あらかじめ御了承ください。

① スクーリングや科目修得試験等で，手話通訳者，ノートテイカーなどの介助者を本学で用意することはできません。
② 点字・拡大文字による教材，音声による教材（録音テープ・ＣＤ等）等を本学で用意することはできません。
③ 本学の諸施設において，利用不便な場所，困難な場所があります。
④ 入学前に障がいについての申し出の無い場合は，入学後，十分な対応ができない場合があります。
⑤ 大学側の特別な配慮を必要とされる場合，入学を遅らせていただくお願いをする場合があります。
⑥ その他，本学において物的･経済的･人的に過重な負担，内容の本質的変更を伴う配慮については対応できません。

上記は代表的な事例を列挙したものです。その他，大学の現状において対応できないことがあります。

13. 入学諸費用の返還について

■書類選考の結果，本学への出願資格を満たしていないことが判明した場合は入学諸費用全額を返還します。
■書類選考の結果，入学不許可となった場合は，選考料を除く入学諸費用を返還します。
■出願後，やむを得ない理由によって出願を辞退する場合は，速やかに電話により申し出てください。入学が許可される前であれば，諸手続き終了後，選考料を除く入学諸費用を返還します。
■入学許可後に，やむを得ない理由によって本学への入学を辞退する場合は，下記により申し出てください。諸手続き終了後，選考料・入学金（科目履修生は登録料）を除く入学諸費用を返還します。ただし，一度提出された入学手続書類は返却しません。

入学許可後の辞退（入学辞退）の取扱いについて

①４月入学生の場合

(1) 入学許可日が令和５年３月31日までの取扱い
入学辞退は令和５年３月31日（金）18時までに電話もしくは下記『お問い合わせフォーム』により申し出てください。

(2) 入学許可日が令和５年４月１日以降の取扱い
入学辞退は「入学許可日」（入学許可書に印字された日付）から起算して14日以内に電話もしくは下記『お問い合わせフォーム』により申し出てください。

②10月入学生の場合

(1) 入学許可日が令和５年９月30日までの取扱い
入学辞退は令和５年９月30日（土）13時までに電話もしくは下記『お問い合わせフォーム』により申し出てください。

(2) 入学許可日が令和５年10月１日以降の取扱い
入学辞退は「入学許可日」（入学許可書に印字された日付）から起算して14日以内に電話もしくは下記『お問い合わせフォーム』により申し出てください。

《注意》①入学辞退の申し出受理に際しては，個人情報の聞き取りによる本人確認をさせていただきます。
②入学辞退の申し出を，本学が受理した後の辞退の取り消しは認めません。
③上記の取り扱い日時を過ぎて申し出があった場合は，本学に学籍が生じておりますので，入学辞退とはならず入学諸費用は一切返還しません（退学扱いとなります）。
④入学諸費用の返還には、2か月程度を要します。

14. 本学通信教育部科目履修生で在籍したことがある方へ

以前，科目履修生で修得した科目・単位を有する方が，令和５年度に正科生（再入学・教職生は除く）として入学し，次の条件に合致した場合，当該科目・単位を最大30単位まで卒業に必要な単位として認定します。ご出願時に必ずお申出ください。
《単位認定条件》
科目履修生としての入学が平成20年度以降で，その間に修得した科目・単位であること
（教育の基礎的理解に関する科目等や配当学年が異なる科目等の卒業所定単位に算入できない科目を除く）。詳細は下記「お問い合わせフォーム」までお問い合わせください。

15. その他

① 各自の学歴が入学資格を有するか不明な方は，必ず出願前に下記『お問い合わせフォーム』より「入学課」を選択の上，お問い合わせください。
② 本学で実施している科目修得試験・スクーリング・メディア授業等については，年度により時期・科目・実施形態・金額等を変更することがあります。
③ 編入学や再入学をご希望の方で，入学時に認定される授業科目区分及び単位数を事前に知りたい場合は，仮認定を行っています。ご希望の方は，下記『お問い合わせフォーム』よりお問い合わせください。

お問い合わせフォーム

https://dld.nihon-u.ac.jp/contact/

3 出願から学修開始までの流れ

出願書類の作成

- 出願資格の証明書等をそろえてください。
- 入学志願書等は，必要事項を正確に記入してください。

入学諸費用の振込

- 大学所定の用紙（入学登録カード）は次のとおり4種類ありますので，各自に適した用紙を用いてください。
  ① 正科生用/銀行用
  ② 正科生用/郵便局用（ゆうちょ銀行用）
  ③ 科目履修生用/銀行用※
  ④ 科目履修生用/郵便局用（ゆうちょ銀行用）※

  郵便局（ゆうちょ銀行）から振込む場合
  「払込取扱票」に必要事項を記入し，払込みを行ってください。
  ※ATM・インターネットバンキングで納入する場合は，26・27ページを参照し，手続きしてください。

出願書類の提出

- 出願に必要な書類等は「令和5年度入学出願用封筒」（灰色）を使用し，郵便局窓口から簡易書留速達で郵送してください。

出願書類の受付

- **出願書類等に不備や記入もれがないように注意してください。**
  書類に不備があった場合，すべてが完備されてから書類選考を行います。

選　考

- 出願書類による書類選考とします。ただし，必要に応じて面接を行うことがあります。
  なお，障がい等があり，就学上特別の配慮を必要とする方は，出願前のできるだけ早い時期に必ず入学課にお申し出ください。（前項12．障がいのある方の入学について参照）。

入学許可書発送

- 「入学許可書」，「学生調査票」及び「学生証」等の入学許可に関する書類をレターパックプラスで送付します。
- 入学許可書発送予定日は，３ページを確認してください。
- 編・再入学生・教職生には「単位認定票」も同封します。
  ※「学生証」については出願時期によって入学許可後に別途送付する場合があります。

補助教材発送

①②③

- 下記①～③を補助教材として宅配便で送付します。④は印刷教材配本申請後送付します（科目履修生は別途教材費がかかります）。
  ①学修要覧 ②教材要綱 ③リポート用紙 ④印刷教材

履修登録･印刷教材配本申請

印刷教材配本

④

学　修　開　始

- リポートの受付開始日は次のとおりです。それ以前に提出しても保留扱いとなりますのでご注意ください。

入学時期	リポート受付開始日
4月入学	4月1日
10月入学	10月1日

4 正科生（1学年入学）の出願

1. 出願資格

① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者。
② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（高等専門学校第3年次修了者等）及び令和5年3月修了見込みの者。
③ 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和5年3月31日までにこれに該当する見込みの者（学校教育法施行規則第150条）。
(1) 外国において，学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣が指定した者。
(2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。
(3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣の定める日以降に修了した者。
(4) 文部科学大臣の指定した者。
ア. 外国の大学入学資格である国際バカロレア，アビトゥア，バカロレア，GCEAレベル（※）を保有する者。
イ. 国際的な評価団体（WASC，CIS，ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者。
ウ. その他
(5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）で，令和5年3月31日までに18歳に達する者。
(6) 18歳に達し，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者。
（※）…GCEAレベル2科目以上でE評価以上を有している方が対象となります。

2. 出願書類 （書類作成にあたっては，消えないペン又はボールペンで記入してください。）

①～⑥は必須です。⑦～⑩は該当者のみ提出してください。

<table>
<tr><td rowspan="8">必須書類</td><td>①</td><td>入学志願書</td><td rowspan="2">本人がかい書で正確に記入してください。なお，証明写真は正面上半身（頭が切れていないもの），脱帽，無背景，1年以内に撮影したものに限ります。写真の裏面に氏名を明記してください。</td></tr>
<tr><td>②</td><td>学籍簿</td></tr>
<tr><td>③</td><td>保証書</td><td>本学指定の「保証書」を使用し，保証人がかい書で記入してください。</td></tr>
<tr><td>④</td><td>志望理由書</td><td>本学指定の「志望理由書」を使用し，本人がかい書で記入してください。</td></tr>
<tr><td>⑤</td><td>正科生用入学登録カード
（出納印が押印済のもの）</td><td>本人がかい書で正確に記入してください。
出願前に必ず入学諸費用の納入を行い，出納印の押印を受けてください。
もしくはATM・インターネットバンキングでのお支払いも可能です。詳しくは26、27ページを参照してください。</td></tr>
<tr><td>⑥</td><td>出願資格の証明書
（発行日から1年以内のものに限る。）</td><td>
<table>
<tr><th>出願資格</th><th>該当する証明書</th></tr>
<tr><td>①高等学校又は中等教育学校卒業者及び卒業見込者
②通常の課程による12年の学校教育修了者及び修了見込者
③－(2) 在外教育施設当該課程修了者及び修了見込者</td><td>調査書
ただし，卒業後5年以上経過し，高等学校より「調査書」が交付されない場合は「卒業証明書」を提出してください。</td></tr>
<tr><td>③－(1)外国の学校等修了（見込）者</td><td rowspan="2">①修了（見込）証明書　②成績証明書
なお，日本と外国の両方の高等学校に在籍した方は，日本の高等学校在学中の「調査書」も併せて提出してください。</td></tr>
<tr><td>③－(3)専修学校の高等課程修了（見込）者</td></tr>
<tr><td>③－(4) 文部科学大臣の指定した者</td><td>A又はB
A　①修了（見込）証明書　②成績証明書
B　資格証明書の写し</td></tr>
<tr><td>③－(5) 高等学校卒業程度認定試験合格（見込）者又は大学入学資格検定合格者</td><td>合格（見込）成績証明書
（合格証明書は不可）</td></tr>
</table>
<＜注意＞
1　令和5年3月高等学校卒業見込（高等学校卒業程度認定試験合格見込）で出願し，入学を許可された方は，入学許可書類に同封された「卒業見込み等で出願された皆様へ」に記載された日付までに卒業証明書（合格成績証明書）を大学あてに提出してください。未提出の場合は入学を取り消すことがあります。
2　書類選考の際，上記以外の証明書の提出を求める場合があります。
3　海外の学校を修了した方で，証明書の発行が受けられない等の理由により卒業（修了）証明書の提出ができない場合は，卒業（修了）証書の原本を提出してください。確認後，書留郵便で返却します。
4　大学を中途退学している方は，必ず「在籍期間証明書」又は「退学証明書」と「成績証明書」を同封してください。
5　学歴を複数有する方は19ページを参照して必要証明書を確認してください。
</td></tr>
<tr><td>該当者のみ提出</td><td>⑦</td><td>⑥の証明書類と現在の氏名が異なる方</td><td>戸籍抄本（謄本）又は戸籍記載事項証明書（新旧氏名が記載されたもの）を提出してください（住民票は不可）。
発行日から3か月以内のものに限ります。</td></tr>
</table>

該当者のみ提出	⑧	国内在住の外国籍の方	日本在住の外国籍の方は次の書類を提出してください。 ① 住民票―発行から**3か月以内**のもの（記載事項が省略されたものは不可） ② 身元保証書―国内在住の身元保証人に身元を保証していただくための書類 ③ 氏名使用に関する承諾書―氏名についての確認に要する書類 4ページ「6. 国内在住の外国籍の入学について」を参照してください。
	⑨	海外在住の方	海外在住の日本国籍の方は次の書類を提出してください。 ① 身元保証書―身元保証人に身元を保証していただくための書類 ② 海外宛郵送希望届又は郵送物等仲介誓約書のいずれか１通 海外在住の外国籍の方は次の書類を提出してください。 ① 身元保証書―身元保証人に身元を保証していただくための書類 ② 氏名使用に関する承諾書―氏名についての確認に要する書類 ③ 海外宛郵送希望届又は郵送物等仲介誓約書のいずれか１通 ④ 日本語能力試験成績証明書―日本語能力試験２級又はN2以上を所持していること 日本語能力試験成績証明書の発行については，日本国内で受験した場合は日本語能力試験受付センター（TEL.03-6686-2974），日本国外で受験した場合は国際交流基金日本語試験センター（TEL.03-5367-1021）へ問い合わせてください。 4ページ「7. 海外在住者の入学について」を参照してください。
	⑩	海外の学校に在籍されたことがある方	学歴記入表（小学校から現在に至るまでの学歴を記入） 4ページ「5. 日本国外の学校に在籍されたことがある方の入学について」を参照してください。

3. 修業年限・在学年数

修業年限 （卒業するために必要な在籍年数）	在学年数 （本学に在学できる最長年数）
4年間	12年間

4. 入学時に必要な納入金（入学諸費用）

内訳	選考料	入学金	授業料	補助教材費	校友会費（準会員）	合計
納入金	10,000円	30,000円	100,000円	5,000円	3,500円	148,500円
備　考	入学時のみ		年額		年額（委託徴収金）	

（備考）
- 授業料100,000円には通信授業の授業料及び教材費（32単位を上限とする）が含まれています。
- 入学諸費用は本学所定用紙「**正科生用**入学登録カード」により，銀行窓口又は郵便局（ゆうちょ銀行）窓口から一括納入してください。
  ※各金融機関のATM，インターネットバンキングの利用可（26,27ページを参照してください）。
- 納入金の分納はできません。

5. 入学後の主な納入金 ※納入金は年度によって改定することがあります。

① 2年目以降の納入金

内訳	授業料	補助教材費	校友会費（準会員）	合計
納入金	100,000円	5,000円	3,500円	108,500円
備　考	年額		年額（委託徴収金）	

（備考）
- 授業料100,000円には通信授業の授業料及び教材費（32単位を上限とする）が含まれています。
- 納入金の分納はできません。

② スクーリング受講料とメディア授業受講料

項目＼形態	昼間スクーリング	夜間スクーリング	夏期スクーリング	東京スクーリング	地方スクーリング	メディア授業
1講座	10,000円				13,000円	20,000円

（備考）
- スクーリングでの「情報概論」の受講には，コンピュータ等実習料3,000円が別途必要です。
- 上記受講料には教材費は含まれません。

③ その他

上記納入金の他に，該当者のみ次の納入金が必要となります。

内訳	卒業論文指導費	卒業論文審査費	総合面接試問費	教育実習費	教職実践演習受講料	介護等の体験費	博物館実習費（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）
納入金	5,000円	10,000円	10,000円	25,000円	10,000円	16,000円	各20,000円
備　考	卒業目的の文理学部生は納入が必須です。			※			

※　教育実習の際，別途実習校への謝礼金が発生する場合があります（目安10,000～20,000円）。

5 正科生（2・3学年編入学）の出願

1. 出願資格

2学年 編入学	① 大学の正規の課程で休学期間を含めずに1年以上在学し，30単位以上修得して退学した者。 ② 国立養護教諭養成所・国立工業教員養成所（3年制）を卒業した者。 ③ 旧制大学・旧制高等学校・旧制専門学校（3年制）を卒業した者。 ④ 下記３学年編入学条件①～④を満たす者。
3学年 編入学	① 大学を卒業した者。 ② 短期大学を卒業した者。 ③ 高等専門学校（5年制）を卒業した者。 ④ 専修学校専門課程を修了した者（修業年限2年以上等，文部科学大臣の定める基準を満たす者）。 ⑤ 大学の正規の課程で休学期間を含めずに2年以上在学し，60単位以上修得して退学した者。 ⑥ 高等学校・中等教育学校後期課程・特別支援学校高等部の専攻科を修了した者。

2. 出願書類 （書類作成にあたっては，消えないペン又はボールペンで記入してください。）

①～⑥は必須です。⑦～⑩は該当者のみ提出してください。

<table>
<tr><td rowspan="6">必須書類</td><td>①</td><td>入学志願書</td><td rowspan="2">本人がかい書で正確に記入してください。なお，証明写真は正面上半身（頭が切れていないもの），脱帽，無背景，1年以内に撮影したものに限ります。写真の裏面に氏名を明記してください。</td></tr>
<tr><td>②</td><td>学籍簿</td></tr>
<tr><td>③</td><td>保証書</td><td>本学指定の「保証書」を使用し，保証人がかい書で記入してください。</td></tr>
<tr><td>④</td><td>志望理由書</td><td>本学指定の「志望理由書」を使用し，本人がかい書で記入してください。</td></tr>
<tr><td>⑤</td><td>正科生用入学登録カード
（出納印が押印済のもの）</td><td>本人がかい書で正確に記入してください。
出願前に必ず入学諸費用の納入を行い，出納印の押印を受けてください。
もしくはATM・インターネットバンキングでのお支払いも可能です。詳しくは26、27ページを参照してください。</td></tr>
<tr><td>⑥</td><td>出願資格の証明書
（発行日から1年以内のものに限る。）</td><td>
<table>
<tr><th>出願資格</th><th>該当する証明書</th></tr>
<tr><td>大学卒業者・短期大学卒業者
高等専門学校（5年制）卒業者
国立養護教諭養成所・国立工業教員養成所卒業者
高等学校・中等教育学校後期課程・特別支援学校高等部専攻科修了者</td><td>「卒業証明書」及び「成績証明書」
「成績証明書」には，必ず単位数又は授業時間数が明記されていること。
※「専攻科」は「卒業証明書」の代わりに「修了証明書」</td></tr>
<tr><td>大学中退者</td><td>「在籍期間証明書」（又は「退学証明書」）及び「成績証明書」
※「在学証明書」や「退学許可書」は不可。退学手続き中の方はP.41 参照</td></tr>
<tr><td>専門学校修了者
（専修学校専門課程修了者）</td><td>「編入学用基礎資格証明書」（本学所定用紙）及び「成績証明書」
「成績証明書」には必ず単位数又は授業時間数が明記されていること。</td></tr>
<tr><td>旧制大学・旧制高等学校・旧制専門学校卒業者</td><td>本学が指定する証明書</td></tr>
</table>
＜注意＞
1 離籍（卒業・修了・退学）後の証明書を提出してください。離籍見込みの方は離籍見込の証明書を提出し，後日，あらためて離籍後の証明書を提出してください。
2 通信制大学を中途退学した方は，スクーリング単位を記した証明書を提出してください。ただし，成績証明書等に記載されている場合は不要です。
3 出願資格となる学校を離籍（卒業・退学等）以降に大学・大学院等を卒業（退学）した方については卒業証明書・修了証明書（退学証明書）を提出してください（二重学籍の確認のため）。
4 書類選考の際，上記以外の証明書の提出を求める場合があります。
5 海外の大学等を卒業した方で，証明書の発行が受けられない等の理由により卒業証明書の提出ができない場合は，卒業証書（原本）を提出してください。確認後，書留郵便で返却します。
6 学歴を複数有する方は19ページを参照して必要証明書を確認してください。
</td></tr>
<tr><td rowspan="4">該当者のみ提出</td><td>⑦</td><td>⑥の証明書類と現在の氏名が異なる方</td><td>戸籍抄本（謄本）又は戸籍記載事項証明書（新旧氏名が記載されたもの）を提出してください（住民票は不可）。発行日から3か月以内のものに限ります。</td></tr>
<tr><td>⑧</td><td>国内在住の外国籍の方</td><td>日本在住の外国籍の方は次の書類を提出してください。
① 住民票―発行から3か月以内のもの（記載事項が省略されたものは不可）
② 身元保証書―国内在住の身元保証人に身元を保証していただくための書類
③ 氏名使用に関する承諾書―氏名についての確認に要する書類
4ページ「6. 国内在住の外国籍の方の入学について」を参照してください。</td></tr>
<tr><td>⑨</td><td>海外在住の方</td><td>海外在住の日本国籍の方は次の書類を提出してください。
① 身元保証書―身元保証人に身元を保証していただくための書類
② 海外宛郵送希望届又は郵送物等仲介誓約書のいずれか1通

海外在住の外国籍の方は次の書類を提出してください。
① 身元保証書―身元保証人に身元を保証していただくための書類
② 氏名使用に関する承諾書―氏名についての確認に要する書類
③ 海外宛郵送希望届又は郵送物等仲介誓約書のいずれか1通
④ 日本語能力試験成績証明書―日本語能力試験2級又はN2以上を所持していること
日本語能力試験成績証明書の発行については，日本国内で受験した場合は日本語能力試験受付センター（TEL.03-6686-2974），日本国外で受験した場合は国際交流基金日本語試験センター（TEL.03-5367-1021）へ問い合わせてください。
4ページ「7. 海外在住者の入学について」を参照してください。</td></tr>
<tr><td>⑩</td><td>海外の学校に在籍されたことがある方</td><td>学歴記入表（小学校から現在に至るまでの学歴を記入）
4ページ「5. 日本国外の学校に在籍されたことがある方の入学について」を参照してください。</td></tr>
</table>

3. 修業年限・在学年数

入学学年	修業年限 （卒業するために必要な在籍年数）	在学年数 （本学に在学できる最長年数）
2学年	3年間	11年間
3学年	2年間	10年間

4. 編入学の単位換算認定基準

<2学年編入学> 最大31単位まで卒業に必要な単位として認定

授業科目区分＼認定方法等	認定単位数	優先順位
総合教育科目	20	1
外国語科目	最大 8	2
保健体育科目	最大 2	3
専門教育科目	最大10	4
認定単位合計	最大31	

<3学年編入学> 最大62単位まで卒業に必要な単位として認定

授業科目区分＼認定方法等	認定単位数	優先順位
総合教育科目	20	1
外国語科目	最大 8	2
保健体育科目	最大 2	3
専門教育科目	最大32	4
認定単位合計	最大62	

（備考）
- 認定方法は，前学校での既修得科目・単位の個性を確認した上で認定します。
- 総合教育科目及び専門教育科目は，前学校での学問領域を問わず認定します。科目ごとではなく，合計単位数で認定します。
- 外国語科目は英語・ドイツ語・フランス語・中国語のうち，いずれか1か国語を合計単位数で認定します。
  ただし，文学専攻（英文学）に出願された方は英語での認定となり最大10単位まで認定します。
- 保健体育科目は「講義系科目」と「実技系科目」を修得していれば，各1単位認定します。
- 当該認定は本学を卒業することを入学目的とする方のための認定となります。
  したがって本学で認定した単位の教員免許状申請に係る単位証明は行いません。

5. 入学時に必要な納入金（入学諸費用）

内訳	選考料	入学金	授業料	補助教材費	校友会費（準会員）	合計
納入金	10,000円	30,000円	100,000円	5,000円	3,500円	148,500円
備　考	入学時のみ		年額		年額（委託徴収金）	

（備考）
- 授業料100,000円には通信授業の授業料及び教材費（32単位を上限とする）が含まれています。
- 入学諸費用は本学所定用紙「正科生入学登録カード」により，銀行窓口又は郵便局（ゆうちょ銀行）窓口から一括納入してください。
  ※各金融機関のATM，インターネットバンキングの利用可（26,27ページを参照してください）。
- 納入金の分納はできません。

6. 入学後の主な納入金 ※納入金は年度によって改定することがあります。

① 2年目以降の納入金

内訳	授業料	補助教材費	校友会費（準会員）	合計
納入金	100,000円	5,000円	3,500円	108,500円
備　考	年額		年額（委託徴収金）	

（備考）
- 授業料100,000円には通信授業の授業料及び教材費（32単位を上限とする）が含まれています。
- 納入金の分納はできません。

② スクーリング受講料とメディア授業受講料

項目＼形態	昼間スクーリング	夜間スクーリング	夏期スクーリング	東京スクーリング	地方スクーリング	メディア授業
1講座	10,000円				13,000円	20,000円

（備考）
- スクーリングでの「情報概論」の受講には，コンピュータ等実習料3,000円が別途必要です。
- 上記受講料には教材費は含まれません。

③ その他

上記納入金の他に，該当者のみ次の納入金が必要となります。

内訳	卒業論文指導費	卒業論文審査費	総合面接試問費	教育実習費	教職実践演習受講料	介護等の体験費	博物館実習費（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）
納入金	5,000円	10,000円	10,000円	25,000円	10,000円	16,000円	各20,000円
備　考	卒業目的の文理学部生は納入が必須です。			※			

※　教育実習の際，別途実習校への謝礼金が発生する場合があります（目安10,000～20,000円）。

6 正科生（教職生）の出願

1. 出願資格

教員免許状取得を目的とし，すでに日本国内４年制大学を卒業した者。

注１　在籍は，正科生（３学年編入学）の扱いとなり，目的とするコースの科目を履修します。
注２　日本国内の大学卒業者に限ります。
注３　海外大学卒業者の方は，正科生（編入学）で出願してください。
注４　教職生は，同時に学校図書館司書教諭コース，学芸員コースの履修ができます。
注５　教員免許状取得における必要単位のみ修得する方向けです。教職生は卒業の手続きを行えません。卒業を希望される場合は，正科生（３学年編入学）で出願してください。

2. 出願書類　（書類作成にあたっては，消えないペン又はボールペンで記入してください。）

①～⑥は必須です。⑦～⑩は該当者のみ提出してください。

必須書類	①	入学志願書	本人がかい書で正確に記入してください。なお，証明写真は正面上半身（頭が切れていないもの），脱帽，無背景，1年以内に撮影したものに限ります。写真の裏面に氏名を明記してください。
	②	学籍簿	
	③	保証書	本学指定の「保証書」を使用し，保証人がかい書で記入してください。
	④	志望理由書	本学指定の「志望理由書」を使用し，本人がかい書で記入してください。
	⑤	**正科生用**入学登録カード （出納印が押印済のもの）	本人がかい書で正確に記入してください。 出願前に必ず入学諸費用の納入を行い，出納印の押印を受けてください。 もしくはATM・インターネットバンキングでのお支払いも可能です。詳しくは26、27ページを参照してください。
	⑥	出願資格の証明書 （発行日から1年以内のものに限る。）	該当する証明書 最後に卒業した大学の「卒業証明書」及び「成績証明書」 <注意> 1　卒業後の証明書を提出してください。また，卒業見込みの方は「卒業見込証明書」を提出し，卒業後，あらためて「卒業の証明書」を提出してください。 2　出願資格となる大学を卒業以降に別の大学・大学院等を卒業（退学）した方については「卒業証明書」・「修了証明書」（退学証明書）を提出してください（二重学籍の確認のため）。 3　書類選考の際，上記以外の証明書の提出を求める場合があります。 4　学歴を複数有する方は19ページを参照して必要証明書を確認してください。 5　教員免許状申請用証明書（学力に関する証明書）は不足単位を確認するため事前に出身大学から入手し，ご自身でお持ちください。提出する必要はありません。
該当者のみ提出	⑦	⑥の証明書類と現在の氏名が異なる方	戸籍抄本（謄本）又は戸籍記載事項証明書（新旧氏名が記載されたもの）を提出してください（住民票は不可）。発行日から**3か月以内**のものに限ります。
	⑧	国内在住の外国籍の方	日本在住の外国籍の方は次の書類を提出してください。 ① 住民票―発行から**3か月以内**のもの（記載事項が省略されたものは不可） ② 身元保証書―国内在住の身元保証人に身元を保証していただくための書類 ③ 氏名使用に関する承諾書―氏名についての確認に要する書類 4ページ「6. 国内在住の外国籍の方の入学について」を参照してください。
	⑨	海外在住の方	海外在住の日本国籍の方は次の書類を提出してください。 ① 身元保証書―身元保証人に身元を保証していただくための書類 ② 海外宛郵送希望届又は郵送物等仲介誓約書のいずれか1通 海外在住の外国籍の方は次の書類を提出してください。 ① 身元保証書―身元保証人に身元を保証していただくための書類 ② 氏名使用に関する承諾書―氏名についての確認に要する書類 ③ 海外宛郵送希望届又は郵送物等仲介誓約書のいずれか1通 ④ 日本語能力試験成績証明書―日本語能力試験2級又はN2以上を所持していること 日本語能力試験成績証明書の発行については，日本国内で受験した場合は日本語能力試験受付センター（TEL.03-6686-2974），日本国外で受験した場合は国際交流基金日本語試験センター（TEL.03-5367-1021）へ問い合わせてください。 4ページ「7. 海外在住者の入学について」を参照してください。
	⑩	海外の学校に在籍されたことがある方	学歴記入表（小学校から現在に至るまでの学歴を記入） 4ページ「5. 日本国外の学校に在籍されたことがある方の入学について」を参照してください。

3. 入学学年と在学年数

入学学年	在学年数 （本学に在学できる最長年数）
3学年	10年間

4. 編入学の単位換算認定基準

授業科目区分＼認定方法等	認定単位数
総合教育科目	20
専門教育科目	32
認定単位合計	一律52

（備考）
- 前大学でどのような科目を修得している場合でも一括して52単位を認定します。
- 当該認定は教員免許状を申請するための認定ではありません。

5. 入学時に必要な納入金（入学諸費用）

内訳	選考料	入学金	授業料	補助教材費	校友会費（準会員）	合計
納入金	10,000円	30,000円	100,000円	5,000円	3,500円	148,500円
備　考	入学時のみ		年額		年額（委託徴収金）	

（備考）
- 授業料100,000円には通信授業の授業料及び教材費（32単位を上限とする）が含まれています。
- 入学諸費用は本学所定用紙「**正科生用**入学登録カード」により，銀行窓口又は郵便局（ゆうちょ銀行）窓口から一括納入してください。
  ※各金融機関のATM，インターネットバンキングの利用可（26,27ページを参照してください）。
- 納入金の分納はできません。

6. 入学後の主な納入金　※納入金は年度によって改定することがあります。

① 2年目以降の納入金

内訳	授業料	補助教材費	校友会費（準会員）	合計
納入金	100,000円	5,000円	3,500円	108,500円
備　考	年額		年額（委託徴収金）	

（備考）
- 授業料100,000円には通信授業の授業料及び教材費（32単位を上限とする）が含まれています。
- 納入金の分納はできません。

② スクーリング受講料とメディア授業受講料

項目＼形態	昼間スクーリング	夜間スクーリング	夏期スクーリング	東京スクーリング	地方スクーリング	メディア授業
1講座	10,000円				13,000円	20,000円

（備考）
- スクーリングでの「情報概論」の受講には，コンピュータ等実習料3,000円が別途必要です。
- 上記受講料には教材費は含まれません。

③ その他

上記納入金の他に，該当者のみ次の納入金が必要となります。

内訳	教育実習費	教職実践演習受講料	介護等の体験費
納入金	25,000円※	10,000円	16,000円

※　教育実習の際，別途実習校への謝礼金が発生する場合があります（目安10,000～20,000円）。

7 正科生（再入学）の出願

再入学とは
以前本学通信教育部に在学しながらも卒業目的を達成できずに退学（除籍を含む）した者が，**前学籍と同一の学部・学科（専攻）に再び入学し，卒業をめざすための制度**です。このため，当該目的以外の場合は，編入学（教職生含む）又は科目履修生としての入学となります。

1. 再入学資格

再入学ができるのは，次の条件①～③のすべてに該当する場合です。
① 本学通信教育部の正科生として１年以上在学し，かつ30単位以上を修得し，正当な理由で退学した者。
② 本学通信教育部において**同一学部・学科（専攻）に再入学を希望し卒業を目的とする者**。
③ 人物が良好で，修学の見込みのある者。
なお，除籍された者については，事情を勘案の上，前項に準じて再入学を認めます。

2. 出願書類 （書類作成にあたっては，消えないペン又はボールペンで記入してください。）

①～⑥は必須です。⑦は該当者のみ提出してください。

必須書類	①	入学志願書	本人がかい書で正確に記入してください。なお，証明写真は正面上半身（頭が切れていないもの），脱帽，無背景，1年以内に撮影したものに限ります。写真の裏面に氏名を明記してください。 学歴欄に通信教育部での学部・学科（専攻），入学・退学年月を必ず記入してください。
	②	学籍簿	
	③	保証書	本学指定の「保証書」を使用し，保証人がかい書で記入してください。
	④	志望理由書	本学指定の「志望理由書」を使用し，本人がかい書で記入してください。
	⑤	**正科生用**入学登録カード （出納印が押印済のもの）	本人がかい書で正確に記入してください。 出願前に必ず入学諸費用の納入を行い，出納印の押印を受けてください。 もしくはATM・インターネットバンキングでのお支払いも可能です。詳しくは26、27ページを参照してください。
	⑥	出願資格証明書 （発行日から1年以内に限る）	該当する証明書：本学通信教育部の「成績証明書」及び「退学証明書」 本学入学以前の証明書は不要です。本学退学後に学歴がある場合，当該学歴の離籍証明書（「卒業証明書」，「在籍期間証明書」等）を提出してください。 証明書の発行については本学通信教育部教務課にお問い合わせください。
該当者のみ提出	⑦	⑥の証明書類と現在の氏名が異なる方	戸籍抄本（謄本）又は戸籍記載事項証明書（新旧氏名が記載されたもの）を提出してください（住民票は不可）。発行日から**3か月以内**のものに限ります。

※ その他選考の際，上記以外の書類を提出していただく場合があります。

3. 再入学年

入学年次は，前学籍の状況を勘案し，本学にて決定します。原則として，退学時の学年へ再入学することになりますが，退学前に修得した単位数（認定単位を含む）によっては，次のとおり学年を下げて再入学となる場合があります。

退学前の修得単位（認定単位を含む）	再入学年
30単位～ 40単位未満	2学年
40単位～ 60単位未満	3学年

※ 学年末の退学者については，修得単位数により学年を上げて再入学を許可することがあります。

4. 修業年限・在学年数

再入学後の「修業年限」及び「在学年数」は次のとおりです。

再入学年	修業年限 （卒業するのに必要な年数）	在学年数 （本学に在学できる最長年数）
2学年	3年間	11年間
3学年	2年間	10年間
4学年	1年間	9年間

※ 休学期間は修業年限に算入されませんが，在学年数には算入されます。

5. 再入学時の単位認定基準

前学籍で所定単位を完成させた科目を認定します（「教職専門教育科目」は除く）。
また，スクーリングで修得した科目の単位は，再入学後もスクーリングで修得した単位として認定されます（後述８-①「卒業に必要なスクーリング単位」として使用可能）。
「リポートのみ合格した科目」や，「科目修得試験のみ合格した科目」，「スクーリングの合格により，所定単位の半分のみ修得した科目」は認定されず，学修の状況も引き継ぎません。
なお，教育課程（カリキュラム）の改正により，認定できない科目が生じる場合や，認定された科目であっても卒業所定単位に算入できない場合があります。

6. 入学時に必要な納入金（入学諸費用）

内訳	選考料	入学金	授業料	補助教材費	校友会費(準会員)	合計
納入金	10,000円	30,000円	100,000円	5,000円	3,500円	148,500円
備　考	入学時のみ		年額		年額(委託徴収金)	

（備考）
● 授業料100,000円には通信授業の授業料及び教材費（32単位を上限とする）が含まれています。
● 入学諸費用は本学所定用紙「**正科生用**入学登録カード」により，銀行窓口又は郵便局（ゆうちょ銀行）窓口から一括納入してください。
※各金融機関のATM，インターネットバンキングの利用可（26,27ページを参照してください）。
● 納入金の分納はできません。

7. 入学後の主な納入金　※納入金は年度によって改定することがあります。

① 2年目以降の納入金

内訳	授業料	補助教材費	校友会費(準会員)	合計
納入金	100,000円	5,000円	3,500円	108,500円
備　考	年額		年額(委託徴収金)	

（備考）
● 授業料100,000円には通信授業の授業料及び教材費（32単位を上限とする）が含まれています。
● 納入金の分納はできません。

② スクーリング受講料とメディア授業受講料

項目＼形態	昼間スクーリング	夜間スクーリング	夏期スクーリング	東京スクーリング	地方スクーリング	メディア授業
1講座	10,000円				13,000円	20,000円

（備考）
● スクーリングでの「情報概論」の受講には，コンピュータ等実習料3,000円が別途必要です。
● 上記受講料には教材費は含まれません。

③ その他
上記納入金の他に，該当者のみ次の納入金が必要となります。

内訳	卒業論文指導費	卒業論文審査費	総合面接試問費	教育実習費	教職実践演習受講料	介護等の体験費	博物館実習費（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）
納入金	5,000円	10,000円	10,000円	25,000円	10,000円	16,000円	各20,000円
備　考	卒業目的の文理学部生は納入が必須です。			※			

※　教育実習の際，別途実習校への謝礼金が発生する場合があります（目安10,000～20,000円）。

8. その他

①　「卒業に必要なスクーリング単位」について
最初に学籍が発生した入学学年に準じたスクーリング単位数が必要となります（再入学時の学年のスクーリング単位数ではありませんので注意してください）。
「卒業に必要なスクーリング単位」は28ページ「2．卒業に必要なスクーリング単位」を参照してください。

②　卒業論文について
卒業論文を提出する場合は以前の学籍で卒業論文作成に取りかかっていた方であっても，再入学後に，**あらためて「卒業論文指導願」の提出及び卒業論文指導費（5,000円）の納入が必要**となります。
特に文理学部は，卒業論文が必修科目ですので，当該手続きを必ず行ってください。
なお，文理学部以外の学部は，卒業論文が選択科目となりますので，当該科目の履修を希望する場合のみ手続きを行ってください。

8 科目履修生の出願（4月入学のみ募集）

1. 出願資格

大学入学資格を有する者（8・10ページ記載の「1. 出願資格」のいずれかに該当する者）

2. 出願書類 （書類作成にあたっては，消えないペン又はボールペンで記入してください。）

①～⑧は必須です。⑨～⑪は該当者のみ提出してください。

必須書類	①	入学志願書	本人がかい書で正確に記入してください。なお，証明写真は正面上半身（頭が切れていないもの），脱帽，無背景，1年以内に撮影したものに限ります。写真の裏面に氏名を明記してください。
	②	学籍簿	
	③	保証書	本学指定の「保証書」を使用し，保証人がかい書で記入してください。
	④	志望理由書	本学指定の「志望理由書」を使用し，本人がかい書で記入してください。
	⑤	**科目履修生用**入学登録カード（出納印が押印済のもの）	本人がかい書で正確に記入してください。 出願前に必ず入学諸費用の納入を行い，出納印の押印を受けてください。 もしくはATM・インターネットバンキングでのお支払いも可能です。詳しくは26、27ページを参照してください。 この用紙は別途取り寄せを行ってください。（注）
	⑥	科目履修生履修申請書	本人がかい書で正確に記入してください。この用紙は別途取り寄せを行ってください。**(注)**
	⑦	写真1枚（縦4cm×横3cm）	正面上半身（頭が切れていないもの），脱帽，無背景，**1年以内**に撮影したもの。 裏面に氏名を明記の上，「出願用封筒」（灰色）に同封してください。
	⑧	出願資格の証明書 （発行日から1年以内のものに限る。）	

出願資格	該当する証明書
1学年入学に相当する学歴の方 高等学校卒業者 高等学校卒業程度認定試験合格者等 （大学在学中の場合も含む）	8ページの出願資格証明書
2学年・3学年編入学に相当する学歴の方 大学卒業者・短期大学卒業者 大学退学者 専門学校専修課程修了者　等	10ページの出願資格証明書

＜注意＞ 1 書類選考の際，上記以外の証明書の提出を求める場合があります。
2 学歴を複数有する方は19ページを参照して必要証明書を確認してください。
3 教員免許状申請用証明書（学力に関する証明書）は不足単位を確認するためご自身でお持ちください。提出する必要はありません。

該当者のみ提出	⑨	⑧の証明書類と現在の氏名が異なる方	戸籍抄本（謄本）又は戸籍記載事項証明書（新旧氏名が記載されたもの）を提出してください（住民票は不可）。発行日から**3か月以内**のものに限ります。
	⑩	国内在住の外国籍の方	日本在住の外国籍の方は次の書類を提出してください。 ① 住民票―発行から**3か月以内**のもの ② 身元保証書―国内在住の身元保証人に身元を保証していただくための書類 ③ 氏名使用に関する承諾書―氏名についての確認に要する書類 4ページ「6. 国内在住の外国籍の方の入学について」を参照してください。
	⑪	海外の学校に在籍されたことがある方	学歴記入表（小学校から現在に至るまでの学歴を記入） 4ページ「5. 日本国外の学校に在籍されたことがある方の入学について」を参照してください。

（注）科目履修生用入学登録カード（出願書類⑤）及び科目履修生履修申請書（出願書類⑥）を必ず入手してください。入手方法は5ページ「11. 科目履修生の出願について」を参照してください。

3. 在学年数・履修単位の上限

在学年数	1年間	本学に在学できる年数のことです。願い出により最長2年間の在学が可能です。
履修単位の上限	30単位	2年目に継続して在学した場合，継続手続時に更に30単位を登録できます。

4. 入学時に必要な納入金（入学諸費用）

内訳	選考料	登録料	科目授業料	試験料	補助教材費	合計
納入金	10,000円	30,000円	5,000円 （1単位につき）	3,000円	5,000円	48,000円 ＋（申請単位数×5,000円）
備　考	入学時のみ		年額			

（備考）
- 上記納入金には教材費は含まれません。入学後，別途通信授業の教材費が必要です。
- 入学諸費用は本学所定用紙「**科目履修生用**入学登録カード」により，銀行窓口又は郵便局（ゆうちょ銀行）窓口から一括納入してください。
  ※各金融機関のATM，インターネットバンキングの利用可（26,27ページを参照してください）。
- 納入金の分納はできません。

5. 入学後の主な納入金 ※納入金は年度によって改定することがあります。

① 2年目の納入金（２年目を継続される方のみ）

内訳	継続履修費	試験料	補助教材費	追加登録費	合計
納入金	30,000円	3,000円	5,000円	5,000円（1単位につき）	38,000円＋（追加単位数×5,000円）
備　考	年額				

（備考）
- 2年目に追加する科目がなければ追加登録費は不要です。
- 上記納入金には教材費は含まれません。別途通信授業の教材費が必要です。
- 納入金の分納はできません。

② スクーリング受講料とメディア授業受講料

項目＼形態	昼間スクーリング	夜間スクーリング	夏期スクーリング	東京スクーリング	地方スクーリング	メディア授業
1講座	10,000円				13,000円	20,000円

（備考）
- 入学時に登録した科目と2年目に追加登録した科目のみ受講申込手続ができます。
- 「情報概論」の受講には，コンピュータ等実習料3,000円が別途必要です。
- 上記受講料には教材費は含まれません。

6. 履修制限等について

科目履修生は正科生と異なり，次のような制限等がありますので留意してください。

① スクーリングが受講できる科目は入学時に「科目履修生履修申請書」で登録した科目のみとなり，体育実技や演習科目など，単位修得方法がスクーリングのみの科目は履修できません。
② スクーリングは正科生の授業に支障のない範囲で受講を許可します。
教育実習･教育実習事前及び事後指導･教職実践演習･介護等の体験は履修できません。教育実習等を希望する方は正科生として入学してください。
③ 本学では教職コース・司書教諭コース・学芸員コースと3つの資格取得コースがありますが，学芸員コースに限り履修することはできません。学芸員コースを希望する方は正科生として入学してください。
④ 年度途中に科目の変更や追加登録はできません。
⑤ 通学定期乗車券の購入・学割証の発行はできません。
⑥ 単位修得方法のうち，スクーリング（メディア授業含む）併用試験方式（34ページ「単位修得方法について」のC方式）での単位修得はできません。
⑦ 科目授業料・追加登録費に通信授業の教材費は含まれません。
⑧ 大学からメールアドレスの付与はありません。

7. 継続手続を行う場合

1年間で単位の修得に至らなかった場合，継続手続きを行うことにより，更に1年間在学期間を延長することができます。
なお，継続後も入学時の履修登録科目は有効ですので，1年目で未修得の科目を2年目に改めて再登録する必要はありません。継続手続の受付期間は例年2月上旬ですが，該当者には個別にお知らせします。

8. 教員免許状取得に必要な履修科目の把握について

履修科目の決定にあたっては，事前に出身大学等と居住地の都道府県教育委員会で指導・確認を受けて，不足科目（単位）を把握してください。
不足科目の把握に不備があり目的が達成できなかったとしても本学では責任を負えません。各自の責任のもとで事前の確認を行ってください。

9. 所属形態について

科目履修生はいずれかの学部・学科（専攻）に所属し，各自の必要科目を履修することになります。
特に教員免許状取得希望者は，希望免許（教科）の取得できる学部・学科（専攻）に所属する必要があります。
司書教諭の資格取得のみを目的とする方は，どの学部・学科（専攻）を選んでも資格取得には影響しません。

10. 正科生に入学した際の単位認定について（平成20年度以降に入学の科目履修生から適用）

本学通信教育部に入学した科目履修生が，修了後に正科生として入学した場合，修得した単位を入学する学年，学科（専攻）に応じて卒業所定単位として最大30単位まで認定します。
ただし，科目によっては認定できないものがありますので，詳細については6ページの「お問い合わせフォーム」をご利用ください。

11. 登録科目の申請について

科目履修生のみ，出願時に履修科目の登録が必要です。
ここでは「令和５年度 科目履修生履修申請書」の記入方法を中心にモデルケースを説明します。

モデルケース（学校図書館司書教諭資格を取得するために必要な科目を登録する）

修得すべき総単位数	10単位
修得すべき科目例 ○内の数字は単位数	学校経営と学校図書館②，学校図書館メディアの構成②，学習指導と学校図書館②， 読書と豊かな人間性②，情報メディアの活用②

このような事例においては，次のように記入してください。

科目履修生番号

記入不要

令和５年度　科目履修生履修申請書

● □内を消えないペン又はボールペンで記入してください。また，希望する学科・専攻及びコースを○印で囲んでください。

学科・専攻	氏　名
法律 ・ 政治経済 ・ 国文学 ・ (英文学) 哲学 ・ 史学 ・ 経済 ・ 商業	日 大　通 子
履修希望コース（該当者のみ選択）	本学通信教育部における過去の在籍の有無
教職コース　(司書教諭コース)	有 ・ (無)

志願者本人が記入

科目履修生として教職コースを履修する方は下記を記入してください。

取得方法（いずれかに○）	1. 学歴を基礎資格として取得　3. 実務経験年数を基礎に上級免許状を取得 2. 他教科免許状を取得　4. 隣接校種の免許状を取得
教育委員会での確認	年　月　日（　都道府県）教育委員会で確認いたしました。

履修申請科目（科目修得試験対象科目から選択すること）

科目コード	科目名	単位数	試験時間割	科目コード	科目名	単位数	試験時間割
U 2 0 1 0 0	学校経営と学校図書館	2	1 限				限
U 2 0 2 0 0	学校図書館メディアの構成	2	2 限				限
U 2 0 3 0 0	学習指導と学校図書館	2	3 限				限
U 2 0 4 0 0	読書と豊かな人間性	2	4 限				限
U 2 0 5 0 0	情報メディアの活用	2	1 限				限
			限				限
			限				限
			限				

申請単位数 １０ 単位　※上限は 30 単位です。

入学諸費用の内訳

選考料	１０，０００円	①４８，０００円
登録料	３０，０００円	
補助教材費	５，０００円	
試験料	３，０００円	

科目授業料（単位数×５，０００円）②	５０，０００円
合　計（①+②）	９８，０００円

（指定振込用紙の金額欄に上記合計金額を記入してください）

私が貴校に申請する科目は，上記科目に相違ありません。　署名　日 大　通 子

12. 学修計画のアドバイス

科目履修生もスクーリング及びメディア授業を受講する事は可能です。しかし，科目履修生の多くは，スクーリングやメディア授業ではなく通信授業を主たる学修方法としている傾向があります。
かつ，その在学期間は原則として1年間であるため，1年間で受験できる科目修得試験を有効に活用する必要があります。右表は，令和５年度科目修得試験の実施日と受験可能な科目数の関係を記載したものです。履修申請の参考にしてください。
また，科目履修生は，34ページのC方式での単位修得はできません。

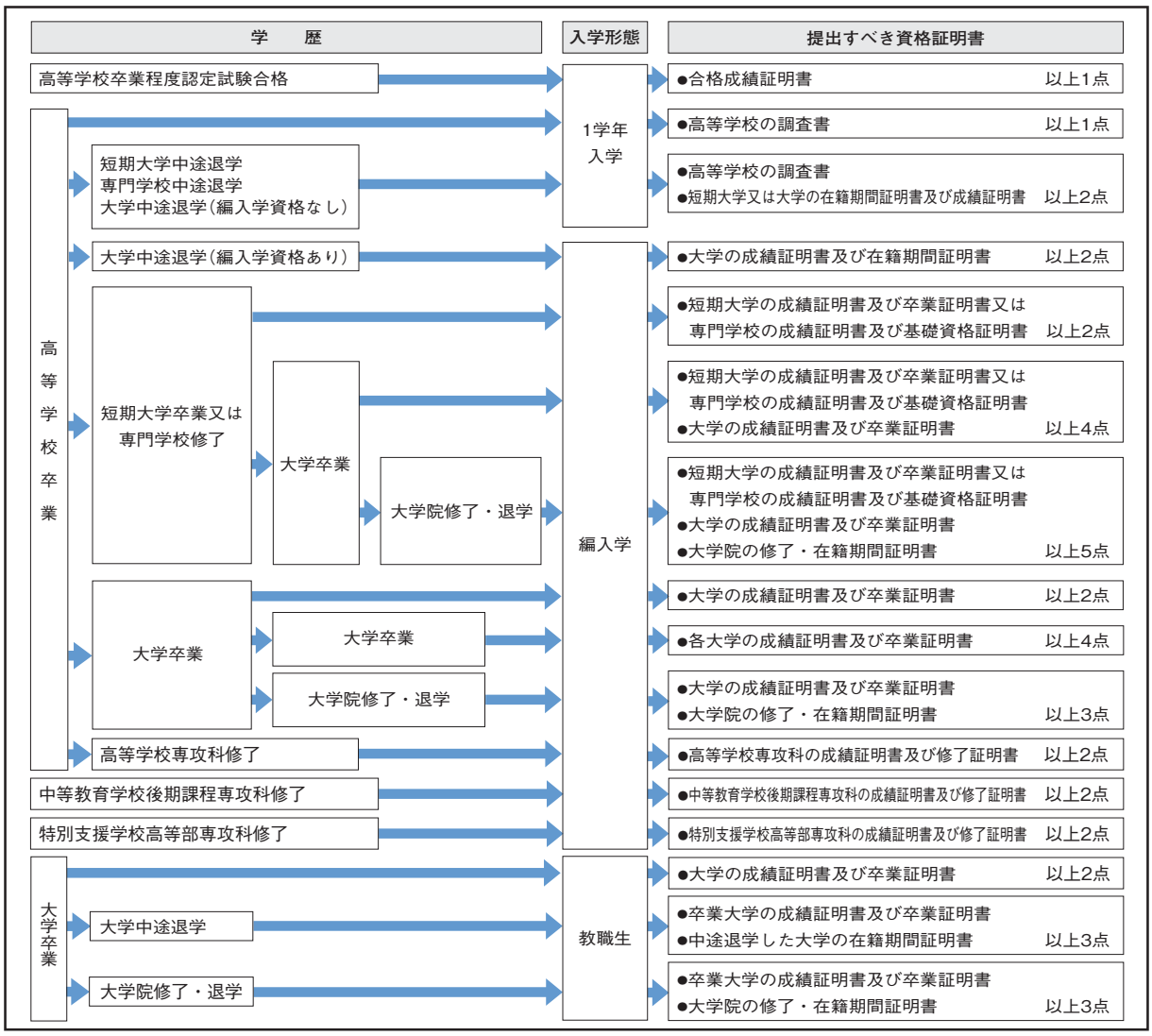
【令和5年度科目修得試験の実施予定日と受験可能科目数】

実施回	実施予定日	受験可能科目数	修得単位の上限
第1回	令和５年４月16日(日)	受験不可	
第2回	令和５年６月25日(日)	4科目	最大30単位
第3回	令和５年10月１日(日)	4科目	
第4回	令和５年12月３日(日)	4科目	
合　計		最大12科目	

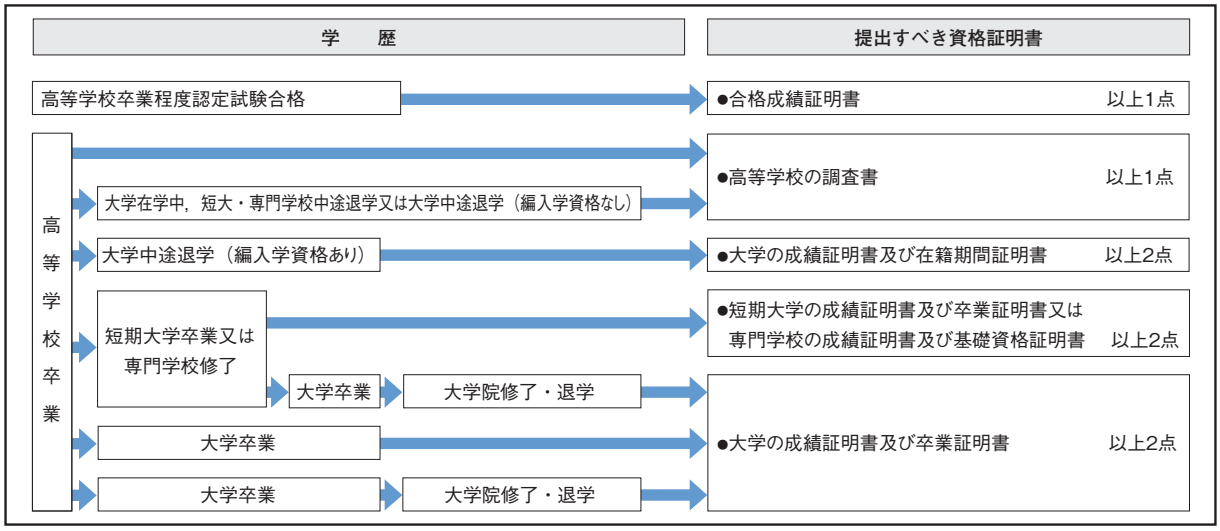
9 出願資格証明書の提出について

ここでは複数の学歴を有する方が，各学校からどのような証明書を取り寄せれば良いかを中心に説明しています。下図を参照し，各自が必要な証明書を確認の上，入手し，他の出願書類とともに提出してください。
なお，書類選考の際，必要に応じて下記資格証明書以外の証明書を提出していただく場合がありますのでご了承ください。

＜正科生（教職生を含む）の場合＞



＜科目履修生の場合＞



※資格証明書の提出にあたり不明な点があれば6ページの「お問い合わせフォーム」をご利用ください。

10 出願書類の記入について

1. 「入学志願書」の記入上の注意

① 共通事項

（1）本人がかい書で消えないペン又はボールペンで記入してください。
摩擦等で消えるペンでご記入の場合，再度書き直してご提出をお願いしております。

（2）右記の記入例を参照して，正確に記入してください。

（3）太枠内を記入してください。

（4）訂正する場合は，訂正箇所に二重線を引き，その上に捺印してください。修正液や紙貼りでの訂正はできません。

（5）数字は「算用数字」（例：１，２，３，……）を使用してください。

② 志願種別欄

志願種別・入学期・希望学科（専攻）・性別の欄を○で囲んでください。

③ 証明写真貼付

1年以内に撮影した正面上半身脱帽の写真を貼付してください（スナップ写真，頭部が切れている写真は不可）。
「入学志願書」，「学籍簿」にそれぞれ１枚ずつ合計２枚必要となります。

④ 氏名・現住所欄

（1）外国籍の場合は，住民票に記載されている氏名（通称名も可）・生年月日・国籍を記入してください。

（2）住所は現住所を詳細に記入し，同居，下宿，寮，勤務先などの場合は「○○様方」と記入してください。住民票記載の住所と同一である必要はありません。

⑤ 学歴欄

高等学校入学から記入し，入学・卒業・退学年月，学校名を記入してください。
高等学校卒業程度認定試験合格者及び大学入学資格検定合格者は，該当試験名を○で囲み，合格年月日を記入してください。

⑥ 勤務先欄（該当者のみ記入）

4月入学生は令和5年3月31日まで，10月入学生は令和5年9月30日まで勤務されている（勤務されていた）勤務先名，勤務先電話番号を記入してください。

⑦ 教員免許状欄（該当者のみ記入）

教員免許状取得希望者は，現在所持する免許状と希望する教科名等を記入してください。

⑧ 誓約書欄

本人が署名・捺印してください（海外在住者は「印」の上にサインでも可）。

⑨ 科目履修生番号欄

6ページ「14. 本学通信教育部科目履修生で在籍したことがある方へ」を参照し，単位認定を希望する方は，科目履修生番号8桁を記入してください。また，科目履修生時の成績証明書を出願書類に添付していただくことになります。

⑩ その他の注意事項

出願後に，志願種別・学部・学科（専攻）を変更することはできません。

2. 「入学志願書」の記入例

記入欄は，本人がかい書で**消えないペン又はボールペン**で記入してください。記載事項に不備がある場合，入学許可日が遅れる場合がありますので，記入もれ（捺印もれ）の無いよう，確認をお願いします。

令和５年度

日本大学通信教育部　入 学 志 願 書

※ 太線内を消えないペン又はボールペンで記入すること。

科目履修生番号	
旧学生番号（再入学志願者）	

過去に本学通信教育部に在籍経験がある方は記入。

志願種別	1学年 入学	2学年 編入学	3学年 編入学	教職生	再入学	科目履修生	入学期	4月 / 10月
志望学部 学科(専攻)	法学部		文理学部			経済学部	商学部	性別
	法律学科	政治経済学科	文学専攻（国文学）	文学専攻（英文学）	哲学専攻	史学専攻	経済学科	商業学科	男 / 女

該当箇所を○で囲む。

タテ4cmxヨコ3cmの写真を貼付してください。

氏名	フリガナ　ニチ　ダイ　ハナ　コ 日大　花子	生年月日	本籍地［外国籍の方は国籍］
		西暦 1991年 10月 4日生（ 31 歳）	東京都

4月生は4月1日，10月生は10月1日現在の年齢を記入。

現住所	102-8005 東京都千代田区九段南４-８-28	自宅電話	03-0000-0000
		携帯電話	090-0000-0001
		メールアドレス	nichidai@nichidai.ac.jp

学歴	入学	卒業（見込）・退学・修了等
	西暦 2007年 4 月 県立 中央　高校入学	西暦 2010年 3 月 県立 中央　高校卒業・卒業見込・退学・転校
	西暦 2010年 4 月 私立 日本大学　入学	西暦 2014年 3 月 私立 日本大学　卒業・卒業見込・退学・修了
	西暦　年　月　立　入学	西暦　年　月　立　卒業・卒業見込・退学・修了
	西暦　年　月　立　入学	西暦　年　月　立　卒業・卒業見込・退学・修了
		西暦　年　月　高等学校卒業程度認定試験合格・大学入学資格検定合格

高等学校入学以後の学歴をすべて記入。（入学・卒業・退学・修了を記入）。行が足りない場合は別紙にまとめて提出。

勤務先 ※該当者のみ	（勤務先名称）桜門株式会社 電話番号 03 - 5275 - 8933　内線（ 771 ）※勤務先への連絡（可・不可）

教員免許取得希望者は必ず記入。

教員免許状資格取得 ※該当者のみ	現在所持する教員免許状	取得希望の教員免許状 ※教職生は必ず記入してください。	取得希望の資格 ※○で囲むこと	
	小学校　種			
	中学校　種（教科　）	中学校　1 種（教科 社会）	学芸員	司書教諭
	高等学校　種（教科　）	高等学校　1 種（教科 地理歴史・公民）		

誓約書

令和 ● 年 ● 月 ●日

日本大学学長　殿

貴大学に入学のうえは，学則を守り教育方針に従うことを保証人とともに誓約いたします。

本人氏名　日大　花子　（日本）

志願者本人が署名・捺印。

※ 記入方法は入学要項 20・21 ページを参照してください。
※ 本書にご記入いただいた個人情報は入学選考，合否の連絡，入学に至る一連の手続及び統計処理等のために使用いたします。
（詳しくは入学要項 52 ページを参照してください）

3. 「学籍簿」の記入上の注意

① **共通事項**

（1）本人がかい書で消えないペン又はボールペンで記入してください。
（2）記入例を参照して，正確に記入してください。
（3）太枠内を漏れなく記入してください。
（4）訂正する場合は，訂正箇所に二重線を引き，その上に捺印してください。修正液や紙貼りでの訂正はできません。
（5）数字は「算用数字」（例：1，2，3，……）を使用してください。

② **学部学科・氏名・現住所欄**

（1）氏名・本籍地・生年月日等は，戸籍に記載されているとおりに記入してください。
（2）外国籍の場合は，住民票に記載されている氏名（通称名も可）・国籍・生年月日等を記入してください。
（3）住所は現住所を詳細に記入し，同居，下宿，寮，勤務先などの場合は「○○様方」と記入してください。
日本国内に在住の場合，大学からの送付物は現住所に送付します（入学志願書と同一の住所としてください）。

③ **証明写真貼付**

1年以内に撮影した正面上半身脱帽の写真を貼付してください（スナップ写真は不可）。
「入学志願書」，「学籍簿」にそれぞれ1枚ずつ合計2枚必要となります。

④ **入学前学歴欄**

高等学校卒業から記入し，卒業（見込）・修了・退学年月日，学校名を記入してください。
高等学校卒業程度認定試験及び大学入学資格検定試験合格者は，該当欄に合格年月日を記入してください。

⑤ **保証人欄**

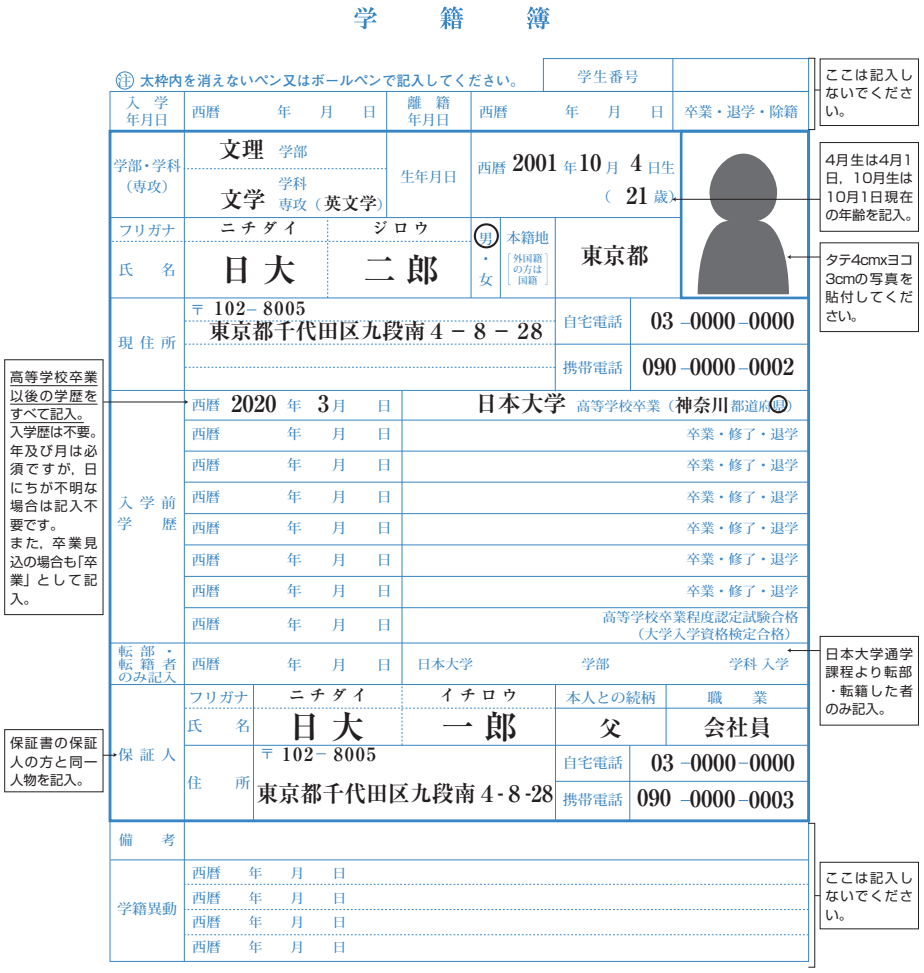
保証人は成人で父母，配偶者等の身元の確かな方を記入してください（保証書と同一の人物としてください）。

⑥ **その他の注意事項**

出願後に，志願種別・学部・学科(専攻)を変更することはできません。

4. 「学籍簿」の記入例

記入欄は，本人がかい書で**消えないペン又はボールペン**で記入してください。記載事項に不備がある場合，入学許可日が遅れる場合がありますので，記入もれ（捺印もれ）の無いよう，確認をお願いします。

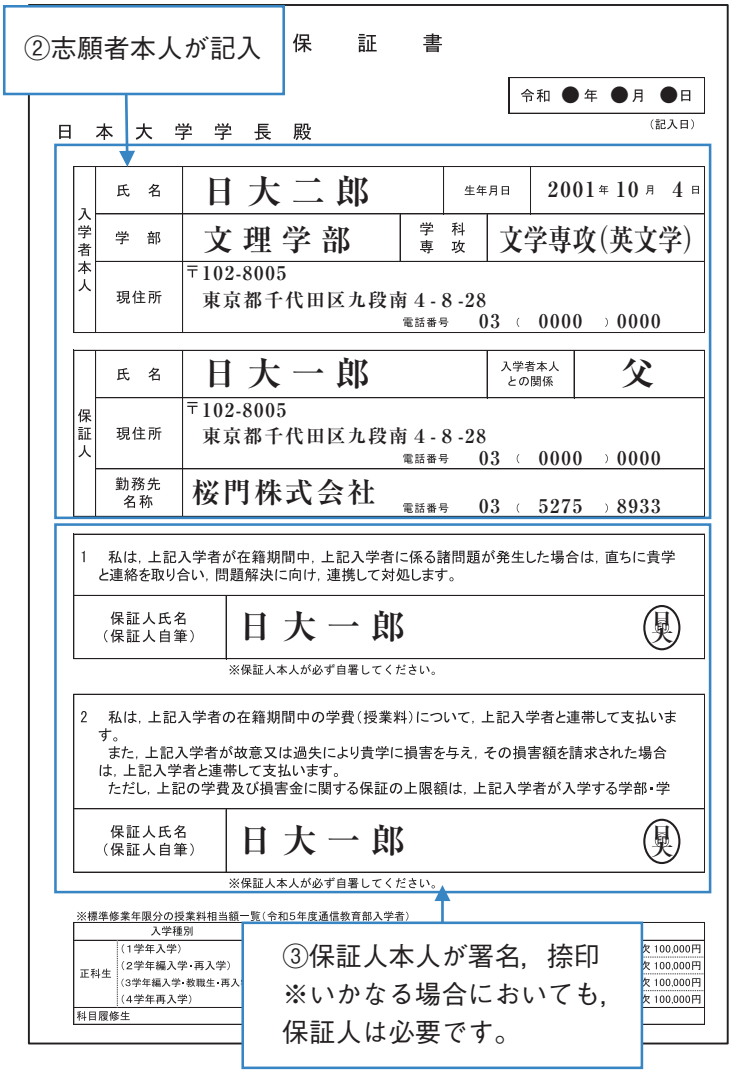


5. 「保証書」の記入上の注意

※令和２年４月１日施行の民法の一部改正に伴い，保証人が保証する債務の範囲（人的保証及び金銭的保証）を明示した保証書をご提出いただくことになりました。
保証書は，志願者全員が提出してください。

6. 「保証書」の記入例

記入欄は，本人がかい書で**消えないペン又はボールペン**で記入してください。記載事項に不備がある場合，入学許可日が遅れる場合がありますので，記入もれ（捺印もれ）の無いよう，確認をお願いします。



①共通事項

（１）本人がかい書で消えないペン又はボールペンで記入してください。
（２）記入例を参照して，正確に記入してください。
（３）太枠内を漏れなく記入してください。
（４）訂正する場合は，訂正箇所に二重線を引き，その上に捺印してください。修正液や紙貼りでの訂正はできません。
（５）数字は「算用数字」（例：１，２，３…）を使用してください

②志願者本人が記入する欄

（１）氏名，生年月日等は，戸籍に記載されているとおりに記入してください。
（２）外国籍の場合は，住民票に記載されている氏名（通称名も可），生年月日等を記入してください。
（３）住所は現住所を詳細に記入し，同居，下宿，寮，勤務先等の場合は「〇〇様方」と記入してください。日本国内に在住の場合，大学からの送付物は現住所に送付します（入学志願書と同一の住所としてください）。
（４）保証人は成人で父母，配偶者等の身元の確かな方を記入してください（学籍簿と同一の人物としてください）。

③保証人本人が記入する欄

（１）保証人は成人で父母，配偶者等の身元の確かな方にお願いし，保証人本人が署名・捺印してください。
本人が成年，未成年を問わず，必ず保証人の署名・捺印が必要となります。

7. 志望理由書の記入上の注意

志望理由書は，志願者全員が提出してください。
指定用紙に消えないペン又はボールペンを使用し，かい書で丁寧に書いてください（志願者本人の自筆）。パソコンによる作成・印刷は認めません。
字数については，350字以上400字以内にまとめてください。
字数不足，超過は不備となり，再度提出をお願いすることとなります。

8. 「入学登録カード」の記入上の注意

入学登録カードは次のとおり4種類あります。いずれか1枚を使用してください。

対　象	振込先
正科生（1学年・編入学・教職生・再入学）	銀　行
正科生（1学年・編入学・教職生・再入学）	郵便局

対　象	振込先
科目履修生（用紙の入手方法は5ページ参照）	銀　行
科目履修生（用紙の入手方法は5ページ参照）	郵便局

（備考）
- コード番号は，下記のコード表のコード番号を記入してください。
- 入学資格学歴欄の学校名は出願資格に該当する学歴を記入してください。
  なお，科目履修生，大学院の修了・退学は出願資格の学歴として対象となりませんので，それ以前の学歴を記入してください。
- 氏名は正字（JIS第二水準以内）で記入してください。

＜コード表＞

①保証人コード（本人から見た続柄）	父	母	配偶者	兄弟姉妹	子	親族	友人・知人	勤務先関係者	その他
	00	01	02	03	04	05	06	07	99

②学歴コード	全日制高校（普通）	全日制高校（専門）	定時制高校（普通）	定時制高校（専門）	通信制高校	高専卒業	高専3年修了	大学中退	短大卒業	大学卒業	認定試験大検合格	専門学校修了	海外高校卒業	海外短大卒業	海外大学卒業	その他
	01	02	03	04	05	06	07	09	10	11	12	13	14	15	16	99

③職業コード 以下，職業分類表参照	教員	公務員	自衛官	会社員	銀行員	商店員	団体職員	私学職員	個人営業	自由業	主婦・主夫	学生	無職	看護師	その他
	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	99

③職業コードについては，7.「入学登録カード」の記入例を参照の上，コード番号に続けて次のA～Cを選んで記入してください。
A～Cの内，あてはまるものがない場合は職業コードのみ左詰めで記入してください。
（例「01A」従前から教員をしていて、今後も継続して教員をされる方）
前期（4月入学）
A　令和5年3月31日以前から仕事をしていて，4月1日以降も引き続き仕事をされる方
B　令和5年3月31日までは無職（高校生、大学生等を含む）で，4月1日から仕事を始められる方
C　令和5年3月31日までに仕事を辞め，4月1日以降は学生となる方
後期（10月入学）
A　令和5年9月30日以前から仕事をしていて，10月1日以降も引き続き仕事をされる方
B　令和5年9月30日までは無職（高校生、大学生等を含む）で，10月1日から仕事を始められる方
C　令和5年9月30日までに仕事を辞め，10月1日以降は学生となる方

④志望動機コード	01	卒業資格	04	日本大学で学びたいから	07	教員免許状の取得	99	その他
	02	職業上の資格	05	教養を深めるため	09	学校図書館司書教諭の取得		
	03	職業上の知識・技術の取得	06	生涯学習のため	10	博物館学芸員の取得		
⑤広告媒体コード（本学通信教育部を知ったきっかけ）		【新　聞】	74	本学公式LINE	BC	桜縁	51	父母・親族の紹介
	01	朝日新聞	75	本学公式Twitter	46	社会人・学生のための大学・大学院ムック	57	知人・友人の紹介
	02	毎日新聞	76	本学公式YouTube	45	進学事典		【ポスター・看板等】
	03	読売新聞	77	web広告	44	教職課程	72	ポスター
	04	日本経済新聞	66	スタディサプリ	BE	地元タウン誌		【入学説明会・イベント】
	05	産経新聞	C1	JS日本の学校	42	その他雑誌	67	本学独自の入学説明会
	30	日本大学新聞	80	mi－gaku（ミガク.ドット.トゥ）		【紹　介】	68	合同入学説明会（通信教育協会）
	22	その他新聞	C3	メールマガジン	52	本学在学生の紹介	D1	願書配布会
		【インターネット】	98	その他webサイト	53	本学卒業生・修了者の紹介		【その他】
	63	本学ホームページ		【出版物・ガイドブック】	54	本学教職員の紹介	99	その他
	70	通信教育協会ホームページ	71	本学リーフレット	55	母校進路指導の先生の紹介		
⑥選択理由コード（本学通信教育部を選んだきっかけ）	01	学びたい科目がある	04	資料がわかりやすい	07	スクーリング形態が自分に合っている	10	学習センターなどのサポート体制が充実している
	02	多様な学科がある	05	入学説明会の説明を聞いて	08	メディア授業に魅力を感じて	99	その他
	03	交通アクセスがいい	06	親族・知人に紹介されて	09	学費が安い		
⑦資料入手コード	01	本学ホームページ	10	合同入学説明会（札幌）	15	合同入学説明会（名古屋）	29	学習センター
	02	本学への郵送請求	11	合同入学説明会（仙台）	16	合同入学説明会（大阪）	31	本学公式LINE
	03	本学の窓口	12	合同入学説明会（新潟）	17	合同入学説明会（岡山）	32	その他webサイト
	04	本学教職員等の関係者	13	合同入学説明会（東京）	18	合同入学説明会（広島）	99	その他
	05	本学独自の入学説明会	14	合同入学説明会（横浜）	19	合同入学説明会（福岡）		
⑧スクーリングコード	01	昼間スクーリング	04	夜間スクーリング	07	まだ決めていない		
	02	夏期スクーリング	05	地方スクーリング	99	受講しない		
	03	東京スクーリング	06	メディア授業				

＜職業分類表＞

①教員（01）……幼稚園，小学校，中学校，高等学校，高等専門学校，大学等において教職に従事する方。
②公務員（02）……国家公務員及び地方公務員。ただし公務員で教員の方は「教員　01」を記入する。
③会社員（04），銀行員（05），商店員（06）……上記①②以外の営利法人格を有する団体又はそれに準ずる団体等に勤務する方。
④団体職員（07）……上記①②③以外の非営利法人格を有する団体又はそれに準ずる団体等に勤務する方。
⑤私学職員（08）……私立学校に勤務する職員（教員を除く）。
⑥個人営業（09）……商店等を個人で営む方。
⑦自由業（10）……文筆家，開業医師，弁護士等。
⑧無職（13）……職業を持たない方（アルバイトを含む）。ただし主婦・主夫（11），専門学校等の学生（12）を除く。
⑨その他（99）……農業・林業・漁業等に従事する方。その他上記の（01）～（13）の分類に該当しない方。

４月生は令和５年３月31日時点、10月生は令和５年９月30日時点で勤務されている職業について職業分類表から選んでください。

9. 「入学登録カード」の記入例

記入欄は，かい書で消えないペン又はボールペンで記入してください

正科生／銀行用の記入例

令和５年度　**正科生用入学登録カード**（銀行振込後，他の出願書類等と一緒に郵送）

（科目履修生はこの用紙を使用しないこと）記入方法は，入学要項の24・25ページを参照してください。
消えないペン又はボールペンで記入してください。

銀 行 用

登録番号

姉と名の間は１文字あける。

志願種別，学部学科（専攻）入学期を選択。

日本国内の方は都道府県（日本国外の方の国名）を記入

項目	志願する内容・番号をそれぞれ○で囲むこと。
志願種別	(学年入学)・２学年編入学・３学年編入学・教職生・再入学
学部・学科（専攻）	１：法学部法律学科　２：法学部政治経済学科　３：文理学部文学専攻（国文学）　４：文理学部文学専攻（英文学）　５：文理学部哲学専攻　６：文理学部史学専攻　(７)：経済学部経済学科　８：商学部商業学科
入学期	(４月入学（前期）)・１０月入学（後期）

志願者氏名	フリガナ	ニチダイ　サブロウ
	漢字	日大　三郎
性別（○で囲むこと）	(男)　女	生年月日　西暦　1997年10月04日　本籍地（国籍）東京都
志願者住所	郵便番号	102－8005
	漢字（海外在住の場合はアルファベット）	千代田区九段南４－８－２８
電話番号	03（5275）8933	携帯電話番号　090（0000）0000
Eメールアドレス	nichidai@dld.nihon-u.ac.jp	

メールアドレスのある方は記入。

左からつめてすべて記入（都道府県名は不要）。

入学諸費用を納入の際，銀行の出納印を受ける。

保証書の保証人の方と同一人物を記入する。

保証人コード	01	保証人氏名	日大通子	保証人電話番号	03（5275）8933	学費支弁者	本人　(保証人)　その他・氏名・電話
入学資格学歴 学歴コード	01	卒業・退学年月（西暦）	2016年03月	学校名欄の記入上の注意	①大学・短期大学は学部・学科名，専門学校は学科名まで記入すること。②広域の通信制高校は，キャンパス・学習センター名を記入すること。③大学院修了者は大学の学歴を記入すること。		
学校名	私立日本大学高等学校						

銀行振込受付証明書

金額　14850円

上記のとおり入学諸費用を受け付けたことを証明します。

取扱銀行出納印

取扱銀行へお願い　必ず出納印を押してください。

P.24を参考に記入する。（あてはまるものがない場合は99を記入する。）

職業コード	04A
志望動機コード	01
広告媒体コード	01
選択理由コード	01
資料入手コード	01
スクーリングコード	01

志望動機を記入。

本学を知ったきっかけとなった媒体を１つ記入。

入学後に受講を予定しているスクーリング（主なもの１つ）を記入。（必ず受講する必要はありません。）

国・都道府県・市・私立から記載。出願資格に該当する学歴を記入。広域通信制高校の方は，キャンパス名を明記。

（大学へ送付用）
この入学登録カードは，令和４年12月1日～令和５年10月31日まで有効です。

科目履修生／郵便局用の記入例

令和５年度　**科目履修生用入学登録カード**（郵便振替払込後，他の出願書類等と一緒に郵送）

記入方法は，入学要項の24・25ページを参照してください。
消えないペン又はボールペンで記入してください。

郵便局用（ゆうちょ銀行用）

登録番号

姉と名の間は１文字あける。

科目履修生も必ず所属学科を選択。

日本国内の方は都道府県（日本国外の方の国名）を記入

項目	志願する内容・番号をそれぞれ○で囲むこと。
志願種別	１学年入学・２学年編入学・３学年編入学・教職生・再入学
学部・学科（専攻）	１：法学部法律学科　２：法学部政治経済学科　３：文理学部文学専攻（国文学）　(４)：文理学部文学専攻（英文学）　５：文理学部哲学専攻　６：文理学部史学専攻　７：経済学部経済学科　８：商学部商業学科
入学期	４月入学（前期）・１０月入学（後期）

志願者氏名	フリガナ	ニチダイ　タロウ
	漢字	日大　太郎
性別（○で囲むこと）	(男)　女	生年月日　西暦　1993年04月29日　本籍地（国籍）北海道
志願者住所	郵便番号	102－8005
	漢字（海外在住の場合はアルファベット）	千代田区九段南４－８－２８
電話番号	03（5275）8933	携帯電話番号　090（0000）0000
Eメールアドレス	nichidai@dld.nihon-u.ac.jp	

メールアドレスのある方は記入。

左からつめてマンション名まですべて記入（都道府県名は不要）。

保証書の保証人の方と同一人物を記入する。

保証人コード	02	保証人氏名	日大信子	保証人電話番号	080（0000）0000	学費支弁者	(本人)　保証人　その他・氏名・電話
入学資格学歴 学歴コード	11	卒業・退学年月（西暦）	2017年03月	学校名欄の記入上の注意	①大学・短期大学は学部・学科名，専門学校は学科名まで記入すること。②広域の通信制高校は，キャンパス・学習センター名を記入すること。③大学院修了者は大学の学歴を記入すること。		
学校名	私立●●大学●学部●●学科						

郵便振替払込受付証明書
※受付局日附印があるものに限ります。
を必ず貼付してください。

入学諸費用を払い込んだのち，郵便払込受付証明書を貼付してください。

P.24を参考に記入する。（あてはまるものがない場合は99を記入する。）

職業コード	04A
志望動機コード	07
広告媒体コード	01
選択理由コード	01
資料入手コード	01
スクーリングコード	01

志望動機を記入。

本学を知ったきっかけとなった媒体を１つ記入。

入学後に受講を予定しているスクーリング（主なもの１つ）を記入。（必ず受講する必要はありません。）

国・都道府県・市・私立から記載。出願資格に該当する学歴を記入。広域通信制高校の方は，キャンパス名を明記。

（大学へ送付用）
この入学登録カードは，令和４年12月1日～令和５年4月10日まで有効です。

10. 三菱UFJ銀行ATMでの振込のお取扱いについて

入学諸費用については，三菱ＵＦＪ銀行ＡＴＭでのキャッシュカード（振込金額 100 万円以下）及び現金（振込金額 10 万円以下）による振込が可能となります。

入学諸費用振込依頼書を持参し，以下の手順に従い振込を行ってください。

ＡＴＭ利用手数料については，注意事項をご覧ください。

【振込手順】

１．振込方法の選択

「お振り込み」より，現金またはキャッシュカードを選択し，キャッシュカードの場合は暗証番号を入力してください。

２．振込先口座の選択・入力

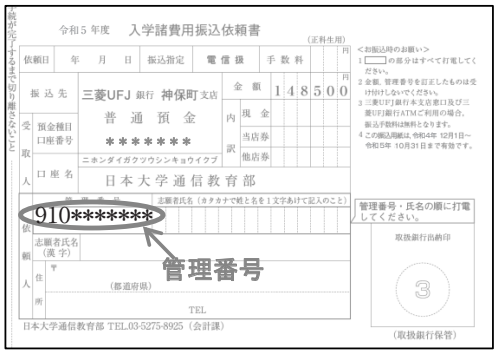
入学諸費用振込依頼書に記載の口座情報を選択・入力し，確認してください。

３．お振込金額の入力

今回納入する金額を入力してください。

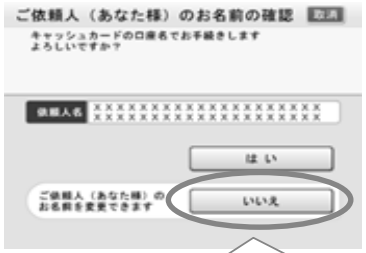
４．依頼人番号＝管理番号（10 桁）の入力

入学諸費用振込依頼書に記載の管理番号（10 桁）を入力してください。



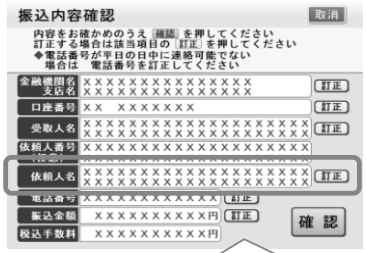
５．依頼人名の確認及び振込実行

キャッシュカード名義が志願者本人でない場合，依頼人名を志願者氏名に変更してください。



銀行キャッシュカードが志願者本人の名義でない場合，「いいえ」を選択

志願者氏名(カナ)を入力



「依頼人名」が，志願者氏名であることを確認

※注意事項

①ATMを利用いただく場合、別途「ATM利用手数料」がかかります。

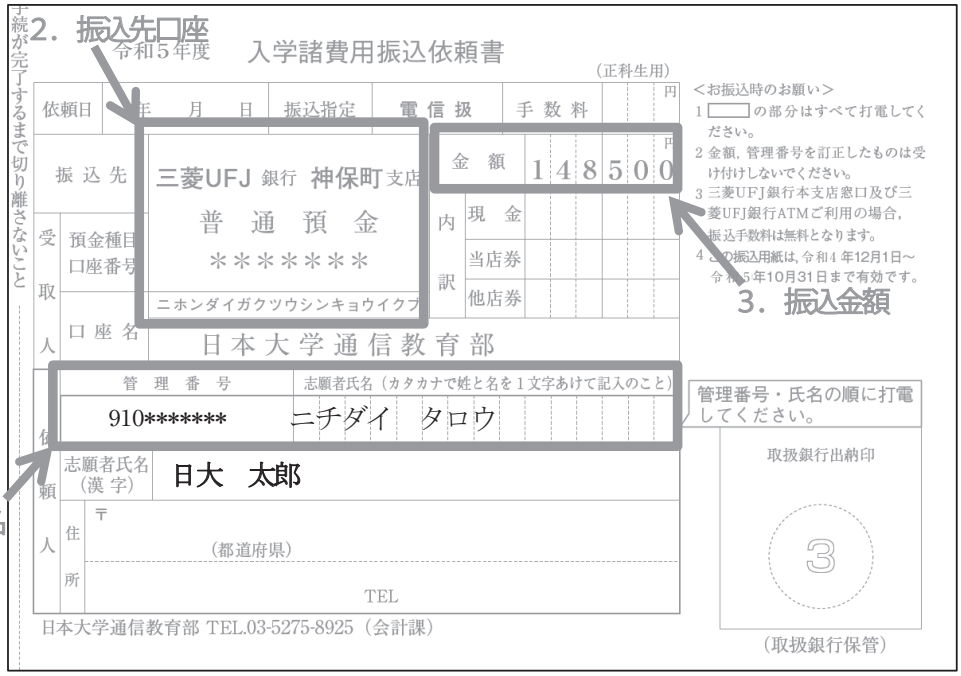
②銀行の出納印は不要です。振込完了後，ＡＴＭから発行される「明細票」のコピーを他の出願書類等とともに大学に郵送してください。

③入学諸費用振込依頼書に記載の内容を変更しての振込は受け付けられません。

【お問い合わせ先】日本大学通信教育部会計課　（電話）０３－５２７５－８９２５

11. 三菱UFJ銀行以外のATM,各金融機関のインターネットバンキングを利用して振込を行う場合

入学諸費用振込依頼書を参照の上，以下の内容を入力し，振込してください。



1．依頼人名

志願者氏名を入力してください。

その際，**管理番号（10 桁）を志願者氏名の前に**入力してください。

2．振込先口座

振込先の口座情報を選択・入力し，確認してください。

3．振込金額

今回納入する金額を入力してください。

例）上の振込依頼書の内容を振込する場合は，以下のとおり入力することとなります。

依頼人名 ： ９１０＊＊＊＊＊＊＊ニチダイ　タロウ
振 込 先 ： 三菱ＵＦＪ銀行　神保町支店　普通　＊＊＊＊＊＊＊　日本大学通信教育部
振込金額 ： １４８，５００円

※注意事項

①銀行の出納印は不要です。振込完了後，ＡＴＭから発行される「明細票」のコピー（インターネットバンキングの場合は振込完了の画面を印刷したもの）を他の出願書類等とともに大学に郵送してください。

②入学諸費用振込依頼書に記載の内容を変更しての振込は受け付けられません。

③振込に係る手数料は，全て依頼人（志願者）の負担となります。

【お問い合わせ先】日本大学通信教育部会計課　（電話）０３－５２７５－８９２５

11 卒業について

卒業するためには，次の3つの条件をすべて満たさなくてはなりません。

1 卒業所定単位124単位を修得すること。 ＋ **2** 左記124単位の中に定められたスクーリング単位を含めること。 ＋ **3** 定められた期間 大学に在学すること。 ＝ **卒業** 学士の学位取得

1. 卒業所定単位

下表のとおり，8学科（専攻）ごとに定められた授業科目区分の単位数を充足しながら124単位を修得してください。
なお，各授業科目区分の具体的な科目は，次ページ「授業科目一覧」を参照してください。

学科・専攻 ＼ 授業科目区分		法学部		文理学部				経済学部	商学部
		法律	政治経済	文学専攻 国文学	文学専攻 英文学	哲学	史学	経済	商業
総合教育科目		20	20	20	20	20	20	20	20
外国語科目		8	8	8	10	8	8	8	8
保健体育科目		2	2	2	2	2	2	2	2
専門教育科目	必修	44	12	—	28	24	4	12	—
	選択必修	8	40	48	20	24	44	—	48
	選択	42	42	38	36	38	38	70	34
	卒業論文			8	8	8	8		
自由選択科目		—	—	—	—	—	—	12	12
合計		124	124	124	124	124	124	124	124

□…編入時の単位認定対象区分

2. 卒業に必要なスクーリング単位

前項１の「卒業所定単位」で説明している卒業単位（124単位）の中に，下表に定める「卒業に必要なスクーリング単位」の修得を含める必要があります。
これを受け，各科目に定められている「所定単位」を満たした場合，「卒業に必要なスクーリング単位」は「卒業要件修得単位」としても算入することができます。

入学種別	卒業に必要なスクーリング単位（スクーリング又はメディア授業にて修得）
１学年入学	30単位以上
２学年編入学	22単位以上
３学年編入学	15単位以上

※ 「卒業に必要なスクーリング単位」は，スクーリング，メディア授業のどちらでも充足できます。
※ 「教職専門科目（教育の基礎的理解に関する科目等）」を「卒業に必要なスクーリング単位」に含めることはできません。
※ 再入学の方は前学籍の入学種別が適用されます。

3. 卒業及び学士の学位

卒業要件（所定の授業科目及び単位を修得）を充足し，卒業することにより，学士の学位が授与されます。
各学部の学位に付記される専攻分野は次のとおりです。

学部	学位名
法学部	学士（法学）
文理学部	学士（文学）
経済学部	学士（経済学）
商学部	学士（商学）

12 授業科目一覧

表の見方	1 ※印の科目はスクーリングが開講された場合にのみ修得できる科目です。 なお，スクーリングの開講は年度ごとに実施するため，科目によっては受講を希望する年度に開講のない場合があります。 2 ○内の数字は必修単位です。 3 科目名は変更する場合があります。

＜科目選定上の注意＞

1　外国語科目は英語・ドイツ語・フランス語・中国語・日本語の5言語のうち，いずれか1か国語で8単位修得する必要があります。ただし，文理学部文学専攻（英文学）は英語で10単位修得してください（英語基礎を除く）。
また，日本語を母国語としない外国籍の方は次のとおりです。
①文理学部文学専攻（英文学）の場合，英語で10単位（英語基礎を除く）を修得してください。
②文理学部文学専攻（英文学）以外の場合，日本語で8単位を修得してください。

2　専門教育科目について，他学部配当の専門教育科目を最大30単位まで選択単位に含めることができます。例えば，商学部商業学科の場合，専門教育科目の選択単位34単位のうち，最大30単位まで法・文理・経済学部配当の専門教育科目を含めることができます。ただし，演習科目等，一部履修できない科目があります。

3　文理学部は，卒業論文が必修です。法・経済・商学部は選択科目になります。作成にあたって，必ず教員から卒業論文指導を受けてください。卒業論文には審査及び総合面接試問（指導教員との面接試験）の合格が必要です。

4　経済・商学部の自由選択科目12単位は，総合教育科目・外国語科目の超過分又は自学部の専門教育科目から修得してください。

5　教育実習等の「教職専門科目」は卒業所定単位に含めることはできません。

1 総合教育科目（各学科共通）

科目	単位	
哲学	4	⑳
論理学	4	
倫理学	4	
宗教学	4	
歴史学	4	
文化史	4	
文学	4	
美術史	4	
法学（日本国憲法2単位を含む）	4	
社会学	4	
政治学	4	
経済学	4	
数学	4	
生物学	4	
心理学	4	
統計学	4	
科学史	4	
※総合科目Ⅰ	2	
※総合科目Ⅱ	2	
※総合科目Ⅲ	2	
※総合科目Ⅳ	2	
※総合科目Ⅴ	2	
※総合科目Ⅵ	2	

2 外国語科目（各学科共通）

科目	単位	
英語Ⅰ	2	⑧ 注2
英語Ⅱ	2	
英語Ⅲ	2	
英語Ⅳ	2	
英語Ⅴ	2	
英語基礎 注1	2	
※実用英語検定	2	
※TOEIC	2	
※TOEFL	2	
ドイツ語Ⅰ	2	⑧
ドイツ語Ⅱ	2	
ドイツ語Ⅲ	2	
ドイツ語Ⅳ	2	
フランス語Ⅰ	2	⑧
フランス語Ⅱ	2	
フランス語Ⅲ	2	
フランス語Ⅳ	2	
中国語Ⅰ	2	⑧
中国語Ⅱ	2	
中国語Ⅲ	2	
中国語Ⅳ	2	
日本語Ⅰ	2	⑧ 注3
日本語Ⅱ	2	
日本語Ⅲ	2	
日本語Ⅳ	2	

注1　英語基礎は英語の学修から離れていた方の基礎力を向上させることを主目的とした科目です。文理学部文学専攻（英文学）の方は履修できません。
注2　文理学部文学専攻（英文学）の場合、英語基礎を除く10単位を修得してください。
注3　日本語を履修できるのは，日本語を母国語としない外国籍の方で，文理学部文学専攻（英文学）を除く学科（専攻）が対象です。

3 保健体育科目（各学科共通）

科目	単位	
保健体育講義Ⅰ	1	①
保健体育講義Ⅱ	1	
※体育実技Ⅰ	1	①
※体育実技Ⅱ	1	

4 法学部法律学科の専門教育科目

部門	科目	単位	
Ⅰ類	※法哲学	4	
	日本法制史	4	
Ⅱ類	憲法	④	
	行政法Ⅰ	4	④
	行政法Ⅱ	4	
	税法	4	
	労働法	4	
	国際法	4	
	国際私法	4	
	知的財産権法	4	
Ⅲ類	民法Ⅰ	④	
	民法Ⅱ	④	
	民法Ⅲ	④	
	民法Ⅳ	④	
	民法Ⅴ	④	
	刑法Ⅰ	④	
	刑法Ⅱ	④	
	商法Ⅰ	④	
	商法Ⅱ	④	
	商法Ⅲ	④	
	刑事訴訟法	4	④
	民事訴訟法	4	
Ⅳ類	政治学原論	4	
	経済学原論	4	
	経済政策	4	
	行政学	4	
	財政学	4	
	国際政治学	4	
	国際経済論	4	
Ⅴ類	※法学特殊講義Ⅰ	4	
	※法学特殊講義Ⅱ	4	
	卒業論文	4	

教職コース教科専門科目	単位
日本史概論	4
東洋史概論	4
西洋史概論	4
人文地理学概論	4
自然地理学概論	4
地誌学概論	4
哲学概論	4
倫理学概論	4

5 法学部政治経済学科の専門教育科目

部門	科目	単位		
Ⅰ類	行政学	④		
	国際政治学	④		
Ⅱ類	経済学原論	④		
Ⅰ類	政治学原論	4	④	⑯
	政治思想史	4		
	日本政治史	4	④	
	東洋政治史	4		
	西洋政治史	4		
	外交史	4		
	地方自治論	4		
	※比較政治学	4		
	※国際関係論	4		
	※政治学特殊講義Ⅰ	4		
	※政治学特殊講義Ⅱ	4		
Ⅱ類	経済学説史	4	④	⑯
	日本経済史	4		
	西洋経済史	4		
	財政学	4	④	
	租税論	4		
	金融論	4		
	経済政策	4	④	
	社会政策	4		
	労働経済論	4		
	国際経済論	4		
	※経済学特殊講義Ⅰ	4		
	※経済学特殊講義Ⅱ	4		
Ⅲ類	憲法	4		⑧
	行政法Ⅰ	4		
	行政法Ⅱ	4		
	民法Ⅰ	4		
	民法Ⅱ	4		
	民法Ⅲ	4		
	民法Ⅳ	4		
	民法Ⅴ	4		
	労働法	4		
	国際法	4		
	国際私法	4		
	知的財産権法	4		
Ⅳ類	卒業論文	4		

教職コース教科専門科目	単位
日本史概論	4
東洋史概論	4
西洋史概論	4
人文地理学概論	4
自然地理学概論	4
地誌学概論	4
哲学概論	4
倫理学概論	4

6 文理学部文学専攻（国文学）の専門教育科目

科目	単位	
国文学基礎講義	4	⑳
国文学概論	4	
国語学概論	4	
国文学史Ⅰ	4	
国文学史Ⅱ	4	
国文法	4	
国文学講義Ⅰ（上代）	4	㉔
※国文学講義Ⅱ（中古）	4	
国文学講義Ⅲ（中世）	4	
国文学講義Ⅳ（近世）	4	
国文学講義Ⅴ（近代）	4	
国文学講義Ⅵ（現代）	4	
国語学講義	4	
※国語学特殊講義	4	
※国文学特殊講義Ⅰ	4	
※国文学特殊講義Ⅱ	4	
※国文学基礎演習	2	
※国語学基礎演習	2	
※国語学演習Ⅰ	2	④
※国語学演習Ⅱ	2	
※国語学演習Ⅲ	2	
※国文学演習Ⅰ	2	
※国文学演習Ⅱ	2	
※国文学演習Ⅲ	2	
※国文学演習Ⅳ	2	
※国文学演習Ⅴ	2	
※国文学演習Ⅵ	2	
漢文学Ⅰ	4	
漢文学Ⅱ	2	
国語音声学	4	
文章表現法	4	
※文章表現演習	2	
卒業論文	⑧	

教職コース教科専門科目	単位
漢字書法	2
かな書法	2

7 文理学部文学専攻（英文学）の専門教育科目

科目	単位	
英語学概説	4	⑧
英語文学概説	4	
※西洋古典	4	
イギリス文学史Ⅰ	④	
イギリス文学史Ⅱ	④	
アメリカ文学史	④	
英語史	④	
英文法	④	
英作文Ⅰ	②	
英作文Ⅱ	②	
英語音声学	④	
スピーチコミュニケーションⅠ	2	②
スピーチコミュニケーションⅡ	2	
新聞英語	2	
放送英語	2	
英米事情Ⅰ	2	
英米事情Ⅱ	2	
異文化間コミュニケーション概論	2	
※英語学特殊講義	4	④
英米文学特殊講義	4	
※英語学演習Ⅰ	2	⑥
※英語学演習Ⅱ	2	
※英語学演習Ⅲ	2	
※英米文学演習Ⅰ	2	
※英米文学演習Ⅱ	2	
※英米文学演習Ⅲ	2	
※英語音声学演習	2	
※近代小説演習	2	
※現代小説演習Ⅰ	2	
※現代小説演習Ⅱ	2	
卒業論文	⑧	

8 文理学部哲学専攻の専門教育科目

科目	単位	
哲学基礎講読	④	
宗教学基礎講読	④	
倫理学基礎講読	④	
日本思想史Ⅰ	4	⑫
日本思想史Ⅱ	4	
東洋思想史Ⅰ	4	
東洋思想史Ⅱ	4	
西洋思想史Ⅰ	4	
西洋思想史Ⅱ	4	
哲学概論	④	
宗教学概論	④	
倫理学概論	④	
哲学特殊講義	4	⑧
※宗教学特殊講義	4	
倫理学特殊講義	4	
科学哲学	4	
※哲学演習Ⅰ	2	④
※哲学演習Ⅱ	2	
※倫理学演習Ⅰ	2	
※倫理学演習Ⅱ	2	
※宗教学演習Ⅰ	2	
※宗教学演習Ⅱ	2	
※現代思想演習Ⅰ	2	
※現代思想演習Ⅱ	2	
卒業論文	⑧	

教職コース教科専門科目	単位
地理学概論	4
地誌学	4
法学通論	4
政治学概論	4
経済学概論	4
商法	4
労働法	4
国際法	4
国際経済論	4
日本史概説	4
東洋史概説	4
西洋史概説	4

9 文理学部史学専攻の専門教育科目

科目	単位	
日本史入門	4	⑫
※東洋史入門	4	
西洋史入門	4	
考古学入門	4	
史学概論	④	
日本史概説	4	⑫
東洋史概説	4	
西洋史概説	4	
考古学概説	4	
日本史特講Ⅰ	4	⑯
日本史特講Ⅱ	4	
※日本史特講Ⅲ	4	
東洋史特講Ⅰ	4	
東洋史特講Ⅱ	4	
※東洋史特講Ⅲ	4	
西洋史特講Ⅰ	4	
※西洋史特講Ⅱ	4	
※西洋史特講Ⅲ	4	
考古学特講Ⅰ	4	
※考古学特講Ⅱ	4	
※日本史演習Ⅰ	2	④
※日本史演習Ⅱ	2	
※東洋史演習Ⅰ	2	
※東洋史演習Ⅱ	2	
※西洋史演習Ⅰ	2	
※西洋史演習Ⅱ	2	
※考古学演習Ⅰ	2	
※考古学演習Ⅱ	2	
古文書学	4	
卒業論文	⑧	

教職コース教科専門科目	単位
地理学概論	4
人文地理学概論	4
自然地理学概論	4
地誌学	4
哲学概論	4
宗教学概論	4
倫理学概論	4
法学通論	4
政治学概論	4
経済学概論	4
※民法	4
商法	4
労働法	4

10 経済学部経済学科の専門教育科目

科目	単位
経済学概論	④
経済原論	④
経済学史	4
※計量経済学	4
価格理論	4
※産業組織論	4
経済史総論	④
日本経済史	4
西洋経済史	4
経済政策総論	4
農業経済論	4
工業経済論	4
国際経済論	4
日本経済論	4
アメリカ経済論	4
中国経済論	4
経済開発論	4
経済地理学	4
財政学総論	4
地方財政論	4
租税論	4
貨幣経済論	4
金融論	4
国際金融論	4
経済統計学	4
社会政策論	4
労働経済論	4
※民法	4
商法	4
労働法	4
情報概論	4
※特殊講義	2又は4
卒業論文	4

教職コース教科専門科目	単位
日本史概説	4
外国史概説	4
人文地理学概論	4
自然地理学概論	4
地誌学	4
法律学概論(国際法を含む)	4
国際政治論	4
哲学概論	4
倫理学概論	4

11 商学部商業学科の専門教育科目

部門	科目	単位	
商学	商学総論	4	㊽
	マーケティング	4	
	貿易論	4	
	金融機関論	4	
	交通論	4	
	※海運港湾論	4	
	保険総論	4	
	※損害保険論	4	
	証券市場論	4	
	広告論	4	
	商品学	4	
	経済地理	4	
	※市場調査論	4	
	国際金融論	4	
	商業政策	4	
	商業英語Ⅰ	2	
	商業英語Ⅱ	2	
	※流通経済論	4	
	※製品計画論	4	
	観光事業論	4	
	商業史	4	
経済学	経済原論	4	
	金融論	4	
	国際経済論	4	
法学	※民法	4	
	商法	4	
	税法	4	
特殊	※外国書講読	2	
	※特殊講義	2又は4	
	※情報管理論	4	
	卒業論文	4	
経営学	経営学	4	
	※経営管理論	4	
	中小企業論	4	
会計学	簿記論Ⅰ	4	
	※簿記論Ⅱ	4	
	会計学	4	
	※原価計算論	4	

教職コース教科専門科目	単位
職業指導	4

メディア授業開講科目一覧

区分	科目（講座）名
総合教育科目	総合科目(インターネット論文術M)
	総合科目(日本大学を学ぶM)
	歴史学(MA／MB)
	文学(MA／MB)
	法学(MA／MB)
	政治学(MA／MB)
	経済学(MA／MB)
	心理学(MA／MB)
外国語科目	英語Ⅰ(MA／MB)
	英語Ⅱ(MA／MB)
	英語Ⅲ(MA／MB)
	英語Ⅳ(MA／MB)
	英語基礎(MA／MB)
保健体育科目	保健体育講義Ⅰ(M)
専門教育科目	憲法(MA／MB)
	民法Ⅰ(MA／MB)
	民法Ⅱ(MA／MB)
	刑法Ⅰ(MA／MB)
	刑法Ⅱ(MA／MB)
	国際政治学/国際政治論/国際政治学概論(MA／MB)
	政治学原論(MA／MB)
	国語学概論(MA／MB)
	国文学講義Ⅴ(近代)(MA／MB)
	英語学概説(MA／MB)
	英米文学概説／英語文学概説(MA／MB)
	イギリス文学史Ⅰ(MA／MB)
	英語史(MA／MB)
	英文法(MA／MB)
	英語音声学(MA／MB)
	東洋史概説／東洋史概論(MA／MB)
	経済原論・経済学原論(MA／MB)
	経済学概論(MA／MB)
	経済史総論(MA／MB)
	日本経済論(MA／MB)
	国際経済論(MA／MB)
	情報概論(MA／MB)
	商学総論(MA／MB)
	貿易論(MA／MB)
	広告論(MA／MB)
	経営学(MA／MB)
	簿記論Ⅰ(MA／MB)
	国文学演習(MA)
	哲学演習(MA)
	日本史演習(MA)
教育の基礎的理解に関する科目等	教育原論／教育の思想(M)
	教育制度論(M)
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法(M)

MA：前期開講　MB：後期開講
M　：前後期同一内容で開講

12 コース科目

コース履修に際しては，必ず『令和5年度コース履修の手引』を参照してください。『コース履修の手引』は令和5年3月末以降の説明会等で入手するか、タイトル横のQRコードもしくは下記URLからご確認ください。後掲「Q&A ここが知りたい」も併せて参照してください。
https://dld.nihon-u.ac.jp/faculty/qualification/

教職コース教職専門科目（教育の基礎的理解に関する科目等）

中学校及び高等学校の教員免許状を取得の際に必要な教職専門科目です。下表の「教職コース教職関連科目」は卒業所定単位に含めることはできません。（注）年度途中に一部の科目が変更となる場合があります。

司書教諭コース科目

教員が学校図書館の職務に従事するために必要な科目です。下表の「司書教諭コース科目」は卒業所定単位に含めることができます。

学芸員コース科目

学芸員の資格取得に必要な科目です。下表の「学芸員コース科目」は卒業所定単位に含めることができます。

教職コース教職関連科目	単位	
教育原論	②	
現代教職論	②	
教育の社会学	②	いずれか1科目選択必修
教育制度論	②	
発達と学習	②	
特別支援教育概論	①	
教育課程論	②	
道徳教育の理論と方法	②	中学のみ必修
特別活動・総合的な学習の時間の指導法	②	
教育の方法・技術論	②	
生徒指導・進路指導論	②	
教育相談	②	
※教育実習事前・事後指導	①	
※教育実習Ⅰ	④	教育実習期間3週間以上4単位
※教育実習Ⅱ	②	2週間2単位
※教職実践演習（中・高）	②	

教職コース教職関連科目	単位	
国語科教育法Ⅰ	②	希望教科の指導法 中学8単位 高校4単位 ※高校1種（英語）新法適用者は8単位
国語科教育法Ⅱ	②	
国語科教育法Ⅲ	②	
国語科教育法Ⅳ	②	
社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	②	
社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	②	
社会科・公民科教育法Ⅰ	②	
社会科・公民科教育法Ⅱ	②	
英語科教育法Ⅰ	②	
英語科教育法Ⅱ	②	
英語科教育法Ⅲ	②	
英語科教育法Ⅳ	②	
商業科教育法Ⅰ	②	
商業科教育法Ⅱ	②	

司書教諭コース科目	単位
学校経営と学校図書館	②
学校図書館メディアの構成	②
学習指導と学校図書館	②
読書と豊かな人間性	②
情報メディアの活用	②

学芸員コース科目	単位	
生涯学習論	②	
博物館概論	②	
博物館経営論	②	
博物館資料論	②	
博物館資料保存論	②	
博物館展示論	②	
博物館教育論	②	
博物館情報・メディア論	②	
※博物館実習Ⅰ	①	
※博物館実習Ⅱ	②	
※博物館実習Ⅲ	①	
文化史	4	⑯
文化人類学	4	
美術史	4	
考古学概説	4	
民俗学	4	
古文書学	4	
科学史	4	
生物学	4	

●その他

実用英語検定・TOEIC・TOEFLの科目は，本学在学中に下表に挙げるレベル以上を取得するとその単位を認定します。対象の検定試験は**入学後に受験**した実用英語技能検定（英検），TOEIC（Listening&Reading），TOEIC（Speaking&Writing），TOEFL（Internet-based），TOEFL ITPです。入学前に受験結果が出ている場合は，認定できません。また，日本英語検定協会主催の「STEP　BULATS（ステップ・ブラッツ）」及びTOEIC-IPは認定対象外です。

外国語科目	試験の種類	レベル	認定授業科目	認定単位数
英語	英検（実用英語技能検定）	準1級以上	実用英語検定	2単位
	TOEIC（Listening&Reading）	700点以上	TOEIC	2単位
	TOEIC（Speaking&Writing）	270点以上		
	TOEFL（Internet-based）	68点以上	TOEFL	2単位
	TOEFL ITP（団体向けテストプログラム）	520点以上		

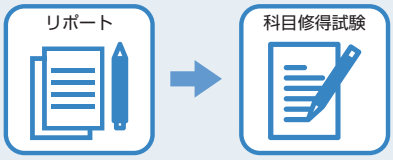
※認定された科目は，英語科目として単位に含めることができます。
※最大認定単位数は，実用英語検定2単位，TOEIC2単位，TOEFL2単位の合計6単位です。

13 単位修得方法について

本学では通信授業，スクーリング，メディア授業の3つの学修方法を組み合わせることによって，科目ごとに4通りの単位修得方式を選択することができます。

履修登録（取りたい科目の登録）

A リポート＋科目修得試験方式



通信教育で学ぶ場合の最も基本的な単位修得方法です。
卒業所定単位の約75%は，この方式で修得できます。

教材の入手 » リポート提出 » 科目修得試験受験登録 » 科目修得試験合格＋リポート合格 » 所定単位完成・単位修得

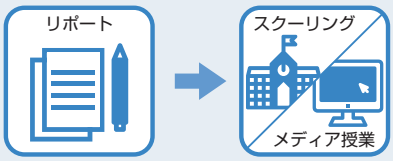
B スクーリング（メディア授業含む）単位の積み重ね方式

同一科目で，2回のスクーリング（メディア授業含む）を受講・合格することで所定単位を修得する方式です。
なお，一部の科目は，1回のスクーリング（メディア授業含む）を受講・合格することで所定単位を修得できます。

スクーリング受講登録 » スクーリング受講・合格 » スクーリング受講登録 » スクーリング受講・合格 » 所定単位完成・単位修得

C スクーリング（メディア授業含む）併用試験方式

※科目履修生は，この単位修得方法はできません。



この方式は，A方式の「リポート＋科目修得試験」の科目修得試験をスクーリング（メディア授業含む）に置き換えた方式です。
1回の受講・合格によりスクーリング単位を修得するとともに，その科目の所定単位を修得できる方式です。
昼間スクーリングはこの方式での受講はできません。

教材の入手 » リポート提出 » スクーリング受講登録 » スクーリング受講・合格＋リポート合格 » 所定単位完成・単位修得

D スクーリング（メディア授業含む）＋リポート＋科目修得試験方式

この方式は，A方式で必要なリポートの一部を，既に合格しているスクーリング単位で置き換える方式です。
※所定単位が4単位の科目のみ使用できます。

スクーリング受講登録 » スクーリング受講・合格 » 教材の入手 » リポート提出 » 科目修得試験受験登録 » 科目修得試験合格＋リポート合格 » 所定単位完成・単位修得

14 資格取得について

1. 教職コース

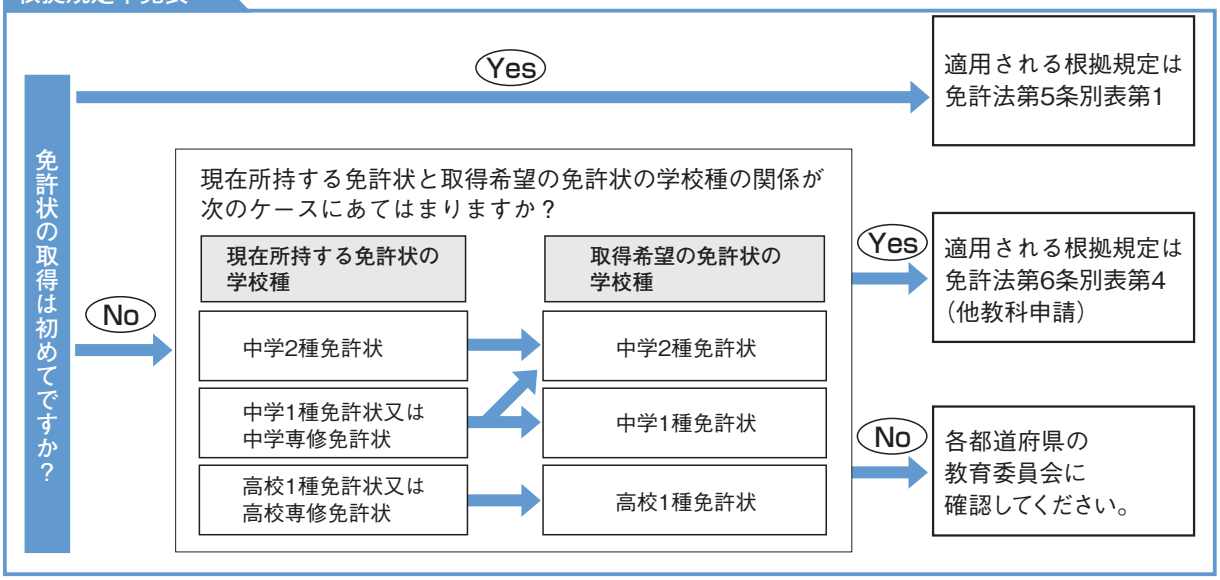
「教育職員免許法施行規則及び免許状更新講習規則の一部を改正する省令（平成29年文部科学省令第41号）」が平成29年11月17日に公布されました（以下，平成10年の改正免許法を「旧法」，令和元年度から適用する課程を「新法」と 略記）。
今回の教育職員免許法・同施行規則の改正に伴い，日本大学通信教育部は，令和元年4月以降の入学者（1学年入学，編入学，再入学，教職生，科目履修生）から新法の適用になります。ただし，日本大学転籍・転部者は除きます。

以前に短期大学・大学・大学院で修得した単位は，新法に読み替えた「学力に関する証明書」を在籍していた大学から取り寄せて，不足単位を修得することになります。なお，本学で教育実習の単位を修得する場合は，本学独自の受講資格を充足する必要があります。
後掲「Q&Aここが知りたい　教職コースについて」も併せて参照してください。

① 適用される根拠規定

初めて免許状を取得するのか，既に何らかの免許状を所持し他教科免許状の取得を目的としているのかで免許法の根拠規定が異なります。各自の状況に応じて適用される根拠規定を確認してください。

根拠規定早見表



※ 専修免許状とは，大学院を修了しなければ，取得できない免許状です。
※ 上記以外のケースについては，入学課へ事前にお問い合わせください。

② 取得できる教員免許状

下表に示した学科（専攻）に在籍して，その教科の教員免許状が取得できます。
中学校教諭１種普通免許状，高等学校教諭１種免許状は，大学卒業資格（学士）の基礎資格，中学校教諭２種普通免許状は，短期大学卒業資格（準学士又は短期大学士）等の基礎資格が必要です。

学部	学科・専攻	中２種	中１種	高１種	
法学部	法律学科	社会		地理歴史	公民
	政治経済学科				
文理学部	文学専攻（国文学）	国語		国語	
	文学専攻（英文学）	英語		英語	
	哲学専攻	社会		公民	
	史学専攻			地理歴史	
経済学部	経済学科			地理歴史	公民
商学部	商業学科			商業	

教員免許状の取得は，大学（短期大学を含む）で必要単位修得後，在住地の都道府県教育委員会へ申請し，授与されます。大学既卒者は，原則ご自身での申請（個人申請）となります。本学を３月に卒業する方のうち，事前に所定の手続をされた方に対しては，本学が東京都教育委員会へ一括申請を行います。

所要資格 ＼ 取得希望の免許状の学校種		①基礎資格	②法定最低修得単位数								③介護等の体験
			教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目	教免規則第66条の6に定める必修科目				合計	
						日本国憲法	体育	外国語コミュニケーション	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作		
中学校	2種	日本の短大卒業（短期大学士）を得るか，大学でこれに相当する資格を得る。	12	19	4	2	2	2	2	43	要
中学校	1種	日本の大学を卒業して「学士」を得る。	28	27	4	2	2	2	2	67	要
高等学校	1種	日本の大学を卒業して「学士」を得る。	24	23	12	2	2	2	2	67	不要

例えば，中学1種英語と高校1種英語と2つの免許状を取得するには……

1 大学を卒業して「学士の学位」を有すること。 ＋ 2 法定最低修得単位数を修得すること。 ＋ 3 介護等の体験を受講すること。 ⇒ **目的達成**

例えば，高校1種地理歴史の免許状を取得するには……

1 大学を卒業して「学士の学位」を有すること。 ＋ 2 法定最低修得単位数を修得すること。 ⇒ **目的達成**

（注）取得希望の教科によっては，本学通信教育部における開設科目の所定単位の関係から，法定最低修得単位数を超過する単位を修得しなければならない場合があります。

③ 他教科免許状の取得（免許法第6条別表第4適用）

既に教員免許状を有している方が，同一学校種の他教科免許状を取得する場合は，免許法第6条別表第4を根拠規定とした免許状の取得となります。

免許法第6条別表第4の所要資格の概要

取得希望の免許状の学校種に応じて，必要となる単位数は下表のとおりです。

所要資格 ＼ 取得希望の免許状の学校種		①基礎資格	②法定最低修得単位数		
			教科及び教科の指導法に関する項目		合計
			教科に関する専門的事項	各教科の指導法に関する科目	
中学校	2種	取得希望免許状に対して同等もしくは上級の学校種の免許状をすでに所持している。	10	4	14
中学校	1種		20	8	28
高等学校	1種		20	4	24

以上は概要を記載したものです。具体的な内容については『令和5年度 コース履修の手引』で確認してください。

2. 司書教諭コース

小学校・中学校・高等学校等の学校内に設置された図書館において，その専門的職務を行う上で必要な資格が司書教諭です。同資格は，地方公共団体が設置する公立図書館や法人が設置する私立図書館に従事する図書館司書とは異なります。

① 所要資格

司書教諭の資格取得には以下2つの条件を満たしてください。

司書教諭を取得するためには……

1
小・中・高・特別支援学校のいずれかの教員免許状を所持すること。
ただし，この場合の教員免許状の種類は，普通免許状又は特別免許状であり，臨時免許状は該当しません。

＋

2
「配当科目」の5科目10単位すべてを修得すること。

⇒

目的達成

② 配当科目

コース配当科目は下表の5科目10単位です。
なお，他大学等の前学校で司書教諭に充当できる科目の一部を既に修得済みであっても，この5科目10単位をすべて本学で修得しなければなりません。
下表の科目は，卒業所定単位に算入することができます。

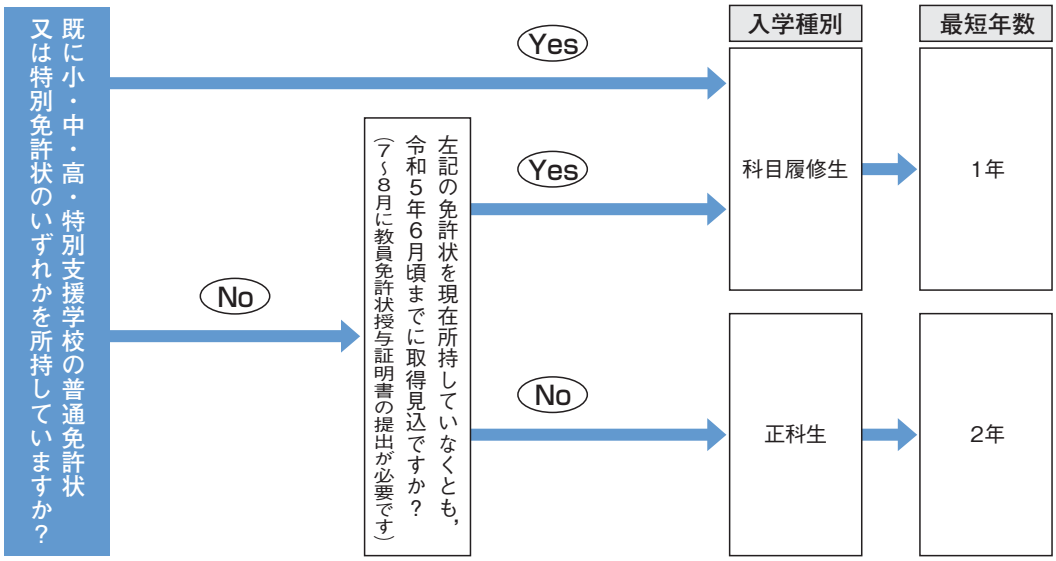
司書教諭コース配当科目

科目名	単位数	科目名	単位数
学校経営と学校図書館	②	読書と豊かな人間性	②
学校図書館メディアの構成	②	情報メディアの活用	②
学習指導と学校図書館	②		

③ 入学種別と目的達成までの最短年数

入学種別と目的達成までの最短年数をまとめたものです。各自にとっての適切な入学種別を確認してください。

適切な入学種別と目的達成までの最短年数



※本学教職コースと併せて履修が必要です。

④ その他

司書教諭コースはどの学科（専攻）に所属していても履修することができます。

3. 学芸員コース ※科目履修生は，学芸員コースを履修することができません。

博物館における資料収集・保管・展示等についての専門的な仕事を行うのが学芸員です。

① 所要資格

学芸員の資格取得には以下2つの条件を満たしてください。

学芸員を取得するためには……

1 大学を卒業して「学士の学位」を有すること。

＋

2 「配当科目」の15科目36単位すべてを修得すること。

⇒ **目的達成**

② 配当科目

コース配当科目は下表の15科目36単位です。
なお，他大学等で学芸員に充当できる科目の一部を既に修得済みであっても，この15科目36単位をすべて本学で修得しなければなりません。

学芸員コース配当科目

必修科目		選択必修科目	
科目名	単位数	科目名	単位数
生涯学習論	②	文化史	4
博物館概論	②	文化人類学	4
博物館経営論	②	美術史	4
博物館資料論	②	考古学概説	4
博物館資料保存論	②	民俗学	4
博物館展示論	②	古文書学	4
博物館教育論	②	科学史	4
博物館情報･メディア論	②	生物学	4
※博物館実習Ⅰ	①		
※博物館実習Ⅱ	②		
※博物館実習Ⅲ	①		

⑯

・単位数が○で囲まれている科目が必修科目です。
・※印はスクーリングで修得しなければならない科目です。
・選択必修科目から4科目を修得してください。

・博物館実習Ⅰ：文理学部校舎で連続3日間の実習を行います。
・博物館実習Ⅱ：連続3日間又は土・日等を利用した隔週，東京近郊の博物館を複数見学します。
・博物館実習Ⅲ：博物館で実習を行います（1週間～10日間）。実習先は，各自で確保する必要があります。

③ 入学種別と目的達成までの年数

入学種別と目的達成までの年数をまとめたものです。各自にとっての適切な入学種別を確認してください。

適切な入学種別と目的達成までの年数

	入学種別	目安となる年数
高卒・高認合格等，1学年入学の有資格者	正科生 1学年入学	4年
大学・短大・専門学校等の卒業等，3学年編入学の有資格者	正科生 3学年編入学	2年

④ 特に注意を要する科目（博物館実習Ⅰ～Ⅲ）

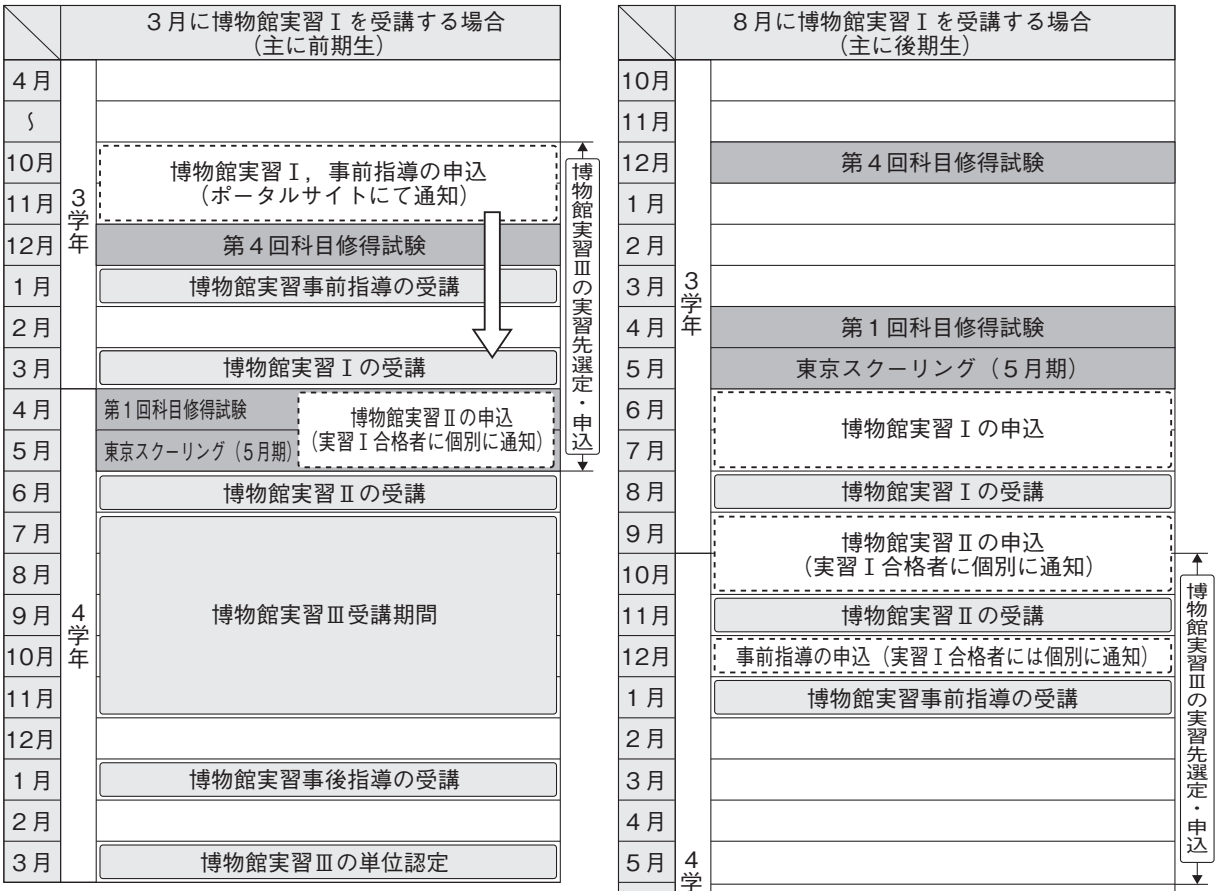
学芸員コース配当科目のうち，「博物館実習Ⅰ」・「博物館実習Ⅱ」・「博物館実習Ⅲ」は特に次のような注意が必要です。

(1) いつでも受講できるのではなく，受講資格を指定した時期までに充足することが必要です。
(2) 博物館実習Ⅲ（館務実習）は，実習先を各自で確保し，事前に内諾を得ることが必要です。
(3) 博物館実習Ⅰ～Ⅲの再履修は認められませんので，必ず一度で合格してください。
(4) 博物館実習Ⅰ～Ⅲの受講には，下表のとおり別途費用が必要となります。

科目名	開講時期（予定）	費用
博物館実習Ⅰ（学内実習）	8月～9月，3月	20,000円
博物館実習Ⅱ（見学実習）	6月，11月	20,000円
博物館実習Ⅲ（館務実習）	各実習先が定める日程（例年7月以降）	20,000円

(5) **10月（後期）入学生が博物館実習Ⅲを受講した場合，単位認定は3月となるため，最短でも2年半の在籍を必要とします。**

（参考）博物館実習Ⅲまでの履修モデル



【参考】各博物館実習の受講資格について

●「博物館実習Ⅰ」
①生涯学習論　②博物館概論
③博物館経営論　④博物館資料論
【充足期限】
・３月実施　：前年の第４回科目修得試験の結果まで
・８・９月実施：東京Ｓ（５月期）の結果まで

●「博物館実習Ⅱ」
①博物館資料保存論　②博物館展示論
③博物館情報・メディア論
④博物館教育論　⑤博物館実習Ⅰ
【充足期限】
・５・６月実施：第１回科目修得試験の結果まで
・11月実施　：夏期Ｓの結果まで

※後期生の場合，最低２年半以上の在籍が必要となります。３年目の年度授業料納入が必要となりますので，注意してください。

15 Q&A ここが知りたい

1. 入学について

Q1 入学の形態を教えてください。

A 正科生（教職生を含む）と科目履修生（４月入学のみ募集）の2通りがあります。
通常，大学を卒業するのであれば正科生，開設科目の一部を履修するのであれば科目履修生の選択となります。
教職生についてはQ9をご覧ください。

Q2 入学試験はありますか。

A 入学試験はありません。出願書類をもとに書類選考の上，入学を許可します。なお，必要に応じて面接を行う場合があります。

Q3 入学式はありますか。

A 4月（前期）入学生を対象とした入学式の予定は未定となっております。入学式に参加できるかどうかは，出願時期によって異なるため，３ページの表をご確認ください。なお，10月（後期）は入学式を行いません。

Q4 日本国外の学校を卒業しましたが，入学することができますか。

A 所定の基準に達していれば入学することができます。詳しくは４ページ「5．日本国外の学校に在籍されたことがある方の入学について」をご確認ください。

Q5 入学の時期が4月・10月と年に2回あり，出願期間がそれぞれ長期間にわたっていますが，いつごろ出願するのがいいのですか。

A 出願時期が遅れると，一部受講できないスクーリング等もありますので，早期出願をお勧めします。詳細は3ページを参照してください。

Q6 大学・大学院等複数の学校を卒業しました。
出願書類を提出する際，それぞれの学校の卒業証明書，成績証明書を提出しなければならないのでしょうか。

A 必要に応じてそれぞれの学校の証明書を提出していただきます。
19ページ「出願資格証明書の提出について」を参照し証明書をご用意ください。

Q7 他の学校（大学・短大・大学院等）に在籍しながら，日本大学通信教育部でも学ぶことはできますか。

A 二重学籍となりますので入学できません（専門学校とのダブルスクールは可）。
なお，現在在籍している学校，又は本学のいずれかが科目履修生であれば，本学としては入学が可能です。
必ず在籍している学校にも，この件についての可否を確認してください。

Q8 2学年・3学年編入学の違いと単位の認定について教えてください。

A 主な相違点は次のとおりです。

	2学年編入	3学年編入
卒業までの最短年数	3年間	2年間
卒業に必要なスクーリング単位数	22単位	15単位
認定可能な最大単位数	31単位	62単位

高専5年課程，短期大学，大学の卒業者及び編入学資格がある専門学校修了者は，ほぼ全員が3学年編入学で出願しています。なお，大学の中途退学者は，前大学での在学年数，修得単位数により2学年編入学となる場合があります。
詳しくは10・11ページを参照してください。
入学時に認定される授業科目区分及び単位数を事前に知りたい場合は，仮認定を行っていますので，６ページの「お問い合わせフォーム」よりお問い合わせください。

Q9 3学年編入学と教職生の違いを教えてください。

A 教職生はすでに日本国内大学を卒業している方が，本学で教員免許状の取得に必要な科目・単位のみを修得するための制度です。したがって，卒業をめざす方は３学年編入をしていただきます。
違いとしては単位認定数が教職生では一律52単位，３学年編入学では最大62単位となります（本学の単位認定は卒業するための単位認定です。教職単位としての流用はできません）。また，年間で履修登録できる単位数の上限は通常48単位ですが，教職生は60単位まで認められています。

Q10 専門学校修了者であれば，どのような専門学校からでも大学に編入学することができますか。

A 昭和51年以降に設置（認可）された専修学校専門課程修了者で，次の3つの基準をすべて満たしていれば編入学できます。
①当該専門課程の修業年限が2年以上であること。
②当該専門課程の修了に必要な総授業時数が1,700時間以上であること。
③大学の入学資格を有すること。
なお，専門学校で学んだ内容（学科・専攻・コース等）は一切問いません。

Q11 「大学校卒業者」や「短期大学を中退」した者であっても編入学することができますか。

A 残念ながら編入学できません。大学入学資格を有している方であれば，1学年入学となります。
ただし，○○大学校と称する専門学校があるため，一概に編入学できないとはいえませんので，必ず，各自で在籍していた学校に確認してください。

Q12 科目履修生として入学することを検討していますが，正科生と比較するといくつか制約があるようです。どのような制約があるのか主なものを教えてください。

A ①在学できる最長期間が短く，原則1年間，最長でも2年間までとなります。
②履修できる科目に限りがあり，教材のある科目（配本申請ができる科目）のみです。
したがって，教育実習や介護等の体験をはじめ，体育実技や演習科目などスクーリングでしか履修できない科目（配本申請ができない科目）の単位は修得できません。
③学芸員コースの履修はできません。
④スクーリングやメディア授業で受講できる科目は，入学時及び2年目の継続申請時に履修登録した科目に限られます。
⑤年度途中で科目の追加や変更はできません。
⑥単位修得方法のなかで，スクーリング（メディア授業含む）併用試験方式（C方式）を用いることはできません。
⑦教材費が別途必要になります。
⑧スクーリング等で通学するために必要な通学証明書や学割証は発行されません。
⑨大学からメールアドレスは付与されません。
⑩4月入学のみ出願できます。10月は募集を行っておりません。

Q13 平成19年度から科目履修生として在籍したことがあり，その当時，約20単位程度修得した実績があります。今回令和2年度に3学年編入学し，卒業を目指そうと思っていますが，科目履修生時の単位を認定してもらえるのですか。

A 残念ながら認定できません。認定の対象になるのは，科目履修生としての入学年度が平成20年度以降の場合のみです。

Q14 入学後に学部・学科（専攻）を変更することはできますか。

A 入学許可後すぐの変更はできませんが，以下の時期に必要単位数を修得し手続きをすれば変更することが可能です。

変更時期	必要単位数
2学年進級時	18単位
3学年進級時	36単位

変更するには進級前に手続きと選考料（5,000円）の納入が必要です。
※3学年編入学生・教職生・再入学生・科目履修生は変更できません。

Q15 通学課程への転籍・転部制度について教えてください。

A 通信教育部から日本大学各学部の通学課程に異動する制度です。同一学部間は転籍，異なる学部へは転部となります。各学部が実施する試験に合格し所定の単位を充足することで異動することができます。

Q16 他大学に在学中で，これから退学手続きをして日本大学通信教育部に入学することはできますか。

A できます。修得単位数や退学日により，入学時期や種別，準備いただく証明書類が異なります。詳しくは5ページ「8．大学を中途退学された方の編入学について」をご確認ください。

2. 学修について

Q17 インターネットに接続したパソコンは必須ですか。

A スクーリングの受講や，科目修得試験受験等各種申込み手続，大学からのお知らせは，インターネットを通じて在学生専用サイト（ポータルサイト）にて行います（スマートフォン・タブレット対応可）。また，オンラインのスクーリングやメディア授業を受講するにはスマートフォンやパソコン（メディア授業はWindowsパソコンのみ対応）が必須です。なお，授業によってはパソコンでのワード・エクセルを使用した課題が課せられる場合もあります。よって，インターネットに接続したパソコンもしくはスマートフォンは必須となります。

Q18 通信教育課程の学修方法に不安を感じますが，不明な点について相談できる場所はありますか。

A 本学では全国各地に指導員を配置し，学習センターで学修のサポートを行っている他，東京・市ヶ谷キャンパスに設置されている学修支援センターでも相談を受けられます（要予約）。
皆さんには学修要覧（補助教材）のほか，ホームページでも学修方法を紹介していますが，通信教育課程は，皆さんの積極的な学修の取り組みにより，不安や孤独感を解消することが重要です。
まずはガイダンス，スクーリングへ積極的に参加することをお勧めします。

Q19 出願してから学修が開始できるまで期間はどの位かかりますか。

A ３ページに記載の入学許可書発送予定日以降に，ご自宅に必要な冊子が到着します（記載日付に発送となるため，到着する日付ではありません）。
その後，履修登録や教材の申請が可能になります。

Q20 履修計画はどのように立てればよいのでしょうか。

A 1年間での標準的な修得単位は30単位程度です。履修登録の上限は48単位（教職生，教職コース登録者で2年生以上は60単位）です。
例えば，1学年入学者で4年間での卒業をめざすのであれば年間30～40単位程度，その中にスクーリング単位を8単位程度含めるのが理想的な履修計画といえます。
まず，卒業するために修得が必要な科目は何か，その科目を何年生で修得するか，単位の修得方法は通信授業にするか，スクーリングにするか等，卒業までのおおまかな計画を自分で立ててみてください。

Q21 履修登録を行った科目が当該年度中に修得できなかった場合，次年度に再度同じ科目を履修登録しなければならないのでしょうか。

A 必要ありません。一度行った履修登録は，在学中有効です。

Q22 1年間で修得しなければならない単位数は決まっているのですか。また，その単位を修得できない場合，留年することになるのですか。

A 各学年の最低修得単位数は定めていませんので，仮に修得単位数が0単位であったとしても4学年まで進級することができます。

Q23 リポートはどのくらい書くのですか。

A 通信授業にて単位修得を行う場合，科目毎にリポートを提出する必要があります。作成通数は4単位科目は2通，2単位科目は1通を必要とします（一部科目によって異なる場合があります）。
リポート1通につき，手書きで1,600字から2,000字の範囲内で作成してください。

Q24 通信授業はリポートの合格だけで単位が修得できるのですか。

A できません。単位を修得するためにはリポートと科目修得試験の両方の合格が必要です。
他の単位修得方法においてもリポート合格のみでは単位は修得できません。

Q25 科目修得試験をどのように受験するのか具体的なイメージがわかりませんので教えてください。

A 履修登録→配本申請（教材の入手）→リポート作成→リポート提出の流れによりリポートの合否に関わらず受験資格が得られます。
受験資格を有する者が受験手続を行うことにより試験を受験することができます。

1回の試験で受験できる科目数は最大で4科目です。
試験会場は全国約50会場から選ぶことができます。受験を申込むと大学から受験票を送付します。

試験会場では各人に問題冊子と答案用紙が配布されます。試験開始後，問題冊子を開封し，自分が受験する科目の試験問題を確認し答案用紙に回答します。
1科目あたりの試験時間は60分間です。受験した時限の問題冊子は，各自持ち帰ることができます。

Q26 メディア授業だけで「卒業に必要なスクーリング単位」を修得しようと考えていますが可能でしょうか。

A 可能です。ただし，体育実技及び文理学部演習科目についてはスクーリングが必要です（体育実技はオンデマンドのみのスクーリングも開講しています）。したがって，1学年入学者や，編入学者であっても体育実技の単位認定がされない方，文理学部に入学した方はスクーリングが必須です。

Q27 東京でのスクーリング(通学授業)を受講するため，勤務先に提出する書類などを発行してもらえますか。

A 勤務先への提出書類は，休暇依頼状・スクーリング出席証明書があります。休暇依頼状（勧奨状）は公益財団法人「私立大学通信教育協会」会長名による書類です。

Q28 英語以外の外国語科目を履修しようと考えています。
初めてなのでスクーリング(面接授業)による学修を希望しているのですが，英語以外の外国語科目はスクーリングで数多く開講していますか。

A 英語以外の外国語科目はスクーリングではあまり開講されていません。通信授業による単位修得が中心となります。
また，英語以外を選択する場合，「外国語変更届」の提出が必要となります。入学後に送付する「入学許可に伴う手続等案内」をご確認ください。

Q29 メディア授業はインターネットに接続したパソコンであればどのような環境のものでも視聴できるのでしょうか。

A 指定された環境があります。下記QRコード，URLをご確認ください。
https://dld.nihon-u.ac.jp/learn/media/

Q30 メディア授業を受講するにあたって，申込から最終試験まで1度も通学する必要はないのですか。

A 必要ありません。
申込から授業，試験までのすべてがインターネット上で可能であり，さらに教員との質疑応答もインターネット上で行うことができます。

3. 卒業について

Q31 通信教育課程を卒業したら，通学課程と同様に学士の学位が授与されますか。

A 授与されます。通信教育課程は正規の大学です。
学位記（卒業証書）は通学課程と同様です。

Q32 卒業に必要な外国語科目の単位が8単位とのことですが，複数の外国語の組合せで8単位としてもよいのでしょうか。

A 複数の外国語の組合せでは卒業要件を満たすことはできません。必ず1か国語で8単位を修得してください。
なお，文学専攻(英文学)は英語科目10単位の修得が卒業要件となっています。

Q33 卒業論文のことが心配です。卒業論文なしで卒業することができますか。

A 文理学部は，卒業論文が必修科目です。それ以外の学部では卒業論文は選択科目となるため，卒業論文に代わる専門教育科目を修得することで卒業することができます。
卒業論文の作成にあたっては，指導教員による卒論指導を受けながら進めていきます。初めて論文を作成する場合でも段階的に指導を受けられるサポート体制が整っています。

Q34 卒業しやすい学科（専攻）はありますか。

A 残念ながらありません。志願者本人が学びたいことを優先して学科（専攻）を選ぶことが卒業の近道といえるでしょう。なお，参考までとなりますが，大学卒業資格の取得を目的とする方は必修・選択必修科目が比較的少なく，卒業論文が必修ではない，経済学科や商業学科に多く入学されているように見受けられます。

Q35 教職生でも教職だけでなく卒業することもできますか。

A 卒業をめざすことは可能です。しかし教職生は卒業を目的としていませんので，卒業も視野に入れている方は「教職生」ではなく「3学年編入学」として出願してください。
教職生として入学後に卒業する必要が生じる又は希望する場合は，本学通信教育部教務課にご相談ください。

Q36 卒業式はありますか?

A 3月卒業は3月25日に日本武道館で行う予定です。9月卒業は10月下旬に市ヶ谷キャンパスにて学位記伝達式を行う予定です。

Q37 卒業率について

A 本学通信教育部の学生は年齢・職業・居住地及び入学目的もさまざまで，学修時間も人それぞれです。入学学年も１年～４年（再入学の場合，４年次入学もあり）と異なりますので，卒業までの年数は一律ではなく，卒業率は算出できません。
しかし，毎年約2,000名が入学し，９月・３月卒業合わせて約500名が卒業されます。そしてその中で約３割の方は最短年数（１年入学の方が４年間，３年編入の方が２年間等）で卒業しています。

4. 教職コースについて

※教職コース希望の方は必ず「令和5年度コース履修の手引」を入手してください。3月末以降，タイトル横のQRコードまたは下記URLからご確認ください。
https://dld.nihon-u.ac.jp/faculty/qualification/

Q38 私は大学を卒業しましたが，在学時に修得した単位で教員免許状申請に使えるものはありますか？

A 在学時に教職課程を履修していなくても，教員免許申請用の単位証明を受けられる場合があります。問合せ方法について次のとおり例示しましたので参考にしてください。
※不足単位・区分については必ず申請予定の都道府県教育委員会に確認してください。

1．日本大学通信教育部の問い合わせ例

本人

私は，中学1種と高校1種の英語の教員免許状を取得希望です。
○年○月に○○大学を卒業しました。在学中は，特に教職課程を履修していませんでした。そのような状況で，出身大学で修得した単位のうち，教員免許申請用の単位として利用できるものはあるのですか？

問い合わせフォームへの投稿

在籍していた大学から次の事項に注意して証明書を入手してください。
①「学力に関する証明書」（教員免許状申請用証明書）を取り寄せてください（成績証明書とはその内容がまったく異なります）。その際に必ず「新法」で証明書の発行を依頼してください。
②中学1種と高校1種の内容の両方について証明されていること。
この「学力に関する証明書」を取り寄せれば，過去に在籍していた大学で有効な単位が確認できます。あとは，「学力に関する証明書」と本学の『令和5年度コース履修の手引』の内容とを見比べて，不足する単位を補えばよいのです。

メールにて返答

日本大学

2．在籍していた大学への問い合わせ例

本人

私は，そちらの○○学科を○年○月に卒業しました。
これから通信制大学で中学1種と高校1種の英語の教員免許状を取得しようと思っています。事前にその通信制大学に問い合わせをした際，まず，卒業大学で免許取得に使える単位があるか否かを確認するように指示を受けました。
教職課程を履修していなくても「学力に関する証明書」（教員免許状申請用証明書）を発行してもらえるかもしれないので，確認の上，入手してくださいとの事でした。
発行は，中学1種と高校1種用の新法様式の「学力に関する証明書」であることが注意点と言われました。その入手方法を教えてください。

わかりました。申し込み方法は，○と○を郵送してください。
届き次第作成し，返送します。約○日後には届くと思います。

卒業大学

〈注意点〉
①本学にて教育実習を受講する場合，教育実習受講資格要件として本学が指定した科目の修得が必要となります。そのため，出身大学等において免許申請に有効な科目・単位を修得していても，不足単位より超過して修得しなくてはならない場合があります。詳しくは「令和5年度コース履修の手引」を確認してください。
②「学力に関する証明書」の各区分における「一般的包括的内容」を含まずに履修した場合は，その区分の内容を充足する科目全てを本学通信教育部で修得する必要があります。
③海外大学卒業の場合は，その基礎資格の有無を含め，必ず居住地の都道府県教育委員会に確認してください。

Q39 私は大学を卒業しており，教員免許状取得を希望しています。できればスクーリング(面接授業)やメディア授業を受講せずに，通信授業だけで単位修得を希望していますがそれは可能ですか。

A 可能です。ただし，次に挙げる4つについては，通学が必要です。
①教育実習（実習校への通学）　②教育実習事前・事後指導　③教職実践演習　④介護等の体験（体験先施設への通学）

Q40 私は社会人です。大学を卒業して「学士」は取得しています。前項の「必要科目」①～⑤はどの程度日数を要するのですか。

A 「必要科目」の最低所要日数は次のとおりです。

科目区分	希望免許状の学校種と最低所要日数			
	中2種	中1種	中1種と高1種	高1種
教育実習	3又は4週間			2週間
教育実習事前指導※	オンデマンド+オンライン(zoom)1日+通学1日			オンデマンド+オンライン(zoom)1日+通学1日
教職実践演習(実習後の事後指導含む)※	オンデマンド+通学2日間			オンデマンド+通学2日間
介護等の体験	7日間			不要
介護等の体験前の事前指導※	オンデマンド			不要
合　計　日　数	22日以上			20日以上

上記日程は，要する日数の合計であり，日程が連続しない場合があります。また，※印が付されているところは本学への通学が必要です。

Q41 私は大学を卒業しました。教育実習と介護等の体験を受講したいのですが，修得するのに年数はどのくらいかかりますか。

A 最低2年間を要します。
社会人の方は，仕事の都合や，単位修得の進捗等により，それ以上の年数をかけて修得する場合もあります。

Q42 日本国内の大学を卒業していますが，科目履修生として入学し，教育実習や教職実践演習，介護等の体験を受講することはできますか。

A 本学では教育実習や教職実践演習，介護等の体験は科目履修生では履修できません。正科生（教職生）として編入学が必要です。ただし，既に大学を卒業し，「学士」の資格（基礎資格）を有しているため本学を卒業する必要はなく，必要単位を修得後，目的の教員免許状が取得できた時点で退学することになります。

Q43 教育実習や教職実践演習のみを修得することはできますか。

A 教育実習のみの修得はできません。
どのような経歴をお持ちの方でも，教育実習を受講するためには本学に入学してから必ず指定科目（教育実習受講資格要件）を11科目修得しなければなりません。
この11科目を指定の時期までに修得することで，2年目以降に教育実習を受講することができます。
したがって，法令上他大学等で本学指定11科目に相当する科目を既に修得済みであっても，あらためて本学で修得が必要となる場合があります。
教職実践演習は一定の条件を満たす方に限り単独での履修を認めています（科目履修生は履修できません）。
詳細は出願前に入学課へお問い合わせください。

Q44 教育実習校の確保は大学に依頼できますか。

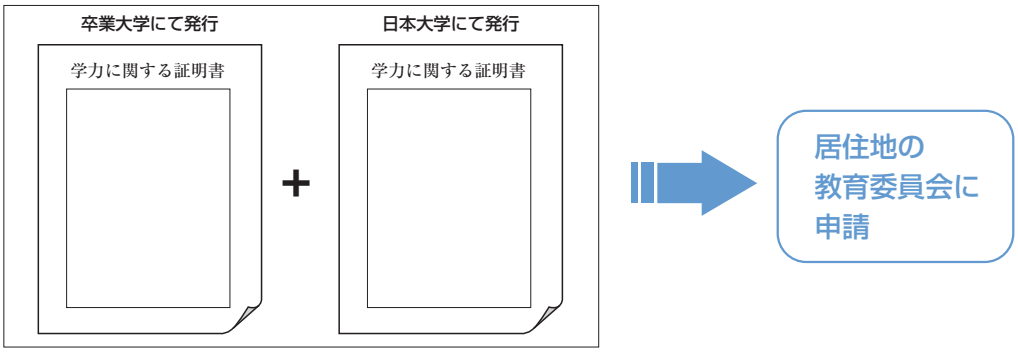
A 大学でとりまとめて申し込む教育実習先として本学付属高校や東京都公立校があります。ただし，いずれも受け入れに限りがあるため，実習先が確保できない場合があります。また，東京都公立校にて教育実習を希望する場合は，2年間での免許状取得はできません。
したがって，各自で教育実習校を確保することを推奨しています。この場合は主に母校（卒業した中学校・高校）に相談することになります。
また，現在中学校・高等学校に勤務されている場合，職種に関らず勤務校では教育実習ができません。

Q45 希望する免許状の取得に必要な条件がすべて整った後,申請手続はどのように行うのですか。

A 申請には，「一括申請」と「個人申請」の2種類があります。
次の①②の条件を満たす場合は，本学で東京都教育委員会を申請先とする「一括申請」を受付けます。
①初めての教員免許状の取得であること。
②3月に本学を卒業すること。
したがって,①②の条件を満たさない場合は，「個人申請」となります。
「個人申請」の場合，申請先は居住地の都道府県の教育委員会となります。
事前に直接問い合わせて申請方法等について指示を受けてください。
なお，東京都教育委員会への一括申請を行わない大学等で修得した単位を一括申請時に使用する場合には，「一括申請」によらず「個人申請」となりますので，一括申請手続時に本学通信教育部教務課へお問い合わせください。

Q46 複数の大学で修得した単位を合算して教員免許状の申請は可能ですか。またどのような書類をそれらの大学から入手する必要がありますか。

A 可能です。はじめに必要なことは，各々の大学から新法様式の「学力に関する証明書」（教員免許状申請用証明書）を入手することです。したがって，次のようなイメージになります。



なお，この他にも必要となる書類がありますので，詳細は申請先の教育委員会へ確認してください。

Q47 すでに教員免許状は取得しています。他教科免許状取得の場合，スクーリング(面接授業)で修得しなければならない科目はありますか。

A ありません（免許法第6条別表第4を根拠規定とした他教科免許状の取得の場合）。したがって，通信授業だけで履修計画を立てることが可能ですが，スクーリングも計画に含めることで目的達成までのスピードアップを図ることができます。

Q48 他教科免許状の取得を希望していますが，正科生（教職生）として入学すべきか科目履修生として入学すべきか迷っています。どのような違いがありますか。

A 例えば，中1種英語と高1種英語を取得するために必要な28単位を修得することを前提とし，下表のとおり，目的達成までに至る年数と学費の関係から比較してみます。
なお，学費の算出にあたっては，通信授業だけで修得した場合を前提としています。

学生の種類	1　年　目	合　計		2　年　目	1年目との合計
正科生(教職生)として編入学	148,500円 (32単位分の教材費を含む)	148,500円	2年目を迎えた場合	108,500円 (32単位分の教材費を含む)	257,000円
科目履修生	48,000円＋(28単位×5,000円) (教材費含まず)	188,000円		継続履修費 38,000円	226,000円

科目履修生の教材費は約2万～3万円です。上表のように，1年間で目的達成に至った場合は正科生のほうが安価で，2年間かけた場合は科目履修生のほうが安価になります。ここでは学費（科目履修生の教材費含まず）だけに注目しましたが，そのほか，正科生にはできて科目履修生にはできないこともあります。41ページQ12も参照した上で選択してください。

5. 司書教諭コースについて

※司書教諭コース希望の方は必ず「令和5年度コース履修の手引」を入手してください。3月末以降，タイトル横のQRコードもしくは下記URLからご確認ください。
https://dld.nihon-u.ac.jp/faculty/qualification/

Q49 司書教諭とは，どのような資格ですか。

A 司書教諭とは，小学校・中学校・高等学校等の学校内に設置されている図書館の整備・運営，生徒の読書相談，読書指導などを行う資格のことをいいます。

Q50 他大学で司書教諭を取得するための科目を一部修得しましたが，その不足分を補うだけで資格取得ができますか。

A できません。本学で5科目10単位分をすべて修得してください。

Q51 本学通信教育部で同コース科目をすべて修得すれば，司書教諭の効力が発生するのですか。

A 同コース科目をすべて履修するだけでなく，修了証書及び教員免許状の所持をもってはじめて効力が発生します。

Q52 司書教諭コースの科目をすべて修得するのに最短で何年かかりますか。

A 最短でも1年を要します。

6. 学芸員コースについて

※学芸員コース希望の方は必ず「令和5年度コース履修の手引」を入手してください。3月末以降，タイトル横のQRコードもしくは下記URLからご確認ください。
https://dld.nihon-u.ac.jp/faculty/qualification/

Q53 他大学で学芸員を取得するための科目を一部修得しましたが,その不足分を補うだけで資格取得ができますか。

A できません。本学通信教育部が開設している15科目36単位分をすべて修得してください。

Q54 博物館実習Ⅲを受講するために日本大学で実習先の斡旋を行っていますか。

A 斡旋は行っていません。各自で確保してください。

Q55 学芸員コースの科目をすべて修得するのに最短で何年かかりますか。

A 最短でも2年，後期(10月)生は2年半を要します。詳細は39ページをご覧ください。

Q56 科目履修生として入学し，学芸員コース科目を履修することはできますか。

A できません。正科生として入学してください。

Q57 学芸員コースは，特定の学部・学科(専攻)に所属しなければ履修できないのですか。

A 学部・学科(専攻)は指定していませんが，カリキュラム・科目の内容から文理学部史学専攻が最も望ましいでしょう。

16 目的達成までの学費について

～目的別に学費のモデルケースを
まとめましたので参考にしてください～

1. 入学から卒業までに要する最低学費の概算

学生の種類	1学年	2学年	3学年	4学年	合計
正科生 1学年入学	入学諸費用 148,500円 （教材費32単位分を含む）	年度授業料等 108,500円 （教材費32単位分を含む）	年度授業料等 108,500円 （教材費32単位分を含む）	年度授業料等 108,500円 （教材費32単位分を含む）	634,000円～
	4年分のスクーリング受講料160,000円～				
正科生 2学年編入学		入学諸費用 148,500円 （教材費32単位分を含む）	年度授業料等 108,500円 （教材費32単位分を含む）	年度授業料等 108,500円 （教材費32単位分を含む）	475,500円～
		3年分のスクーリング受講料110,000円～			
正科生 3学年編入学			入学諸費用 148,500円 （教材費32単位分を含む）	年度授業料等 108,500円 （教材費32単位分を含む）	337,000円～
			2年分のスクーリング受講料80,000円～		

2. 入学から資格取得までに要する最低学費の概算

① 教職コース

学生の種類		1学年	2学年	3学年	4学年	合計
初めての免許状取得（免許法第5条別表第1）	正科生 1学年入学 本学通信教育部を卒業し，中1種・高1種を同時取得の場合。	入学諸費用 148,500円 （教材費32単位分を含む）	年度授業料等 108,500円 （教材費32単位分を含む）	年度授業料等 108,500円 （教材費32単位分を含む）	年度授業料等 108,500円 （教材費32単位分を含む）	685,000円～
		4年分のスクーリング受講料160,000円～				
			教育実習・介護等の体験等を含め51,000円			
	正科生 3学年編入学 本学通信教育部を卒業し，中1種・高1種を同時取得の場合。			入学諸費用 148,500円 （教材費32単位分を含む）	年度授業料等 108,500円 （教材費32単位分を含む）	388,000円～
				2年分のスクーリング受講料80,000円～		
				教育実習・介護等の体験等を含め51,000円		
	正科生（教職生） 中1種・高1種を同時取得の場合。			入学諸費用 148,500円 （教材費32単位分を含む）	年度授業料等 108,500円 （教材費32単位分を含む）	308,000円～
				教育実習・介護等の体験等を含め51,000円		
他教科免許状取得（免許法第6条別表第4）	正科生（教職生） 中1種・高1種を同時取得の場合。 28単位修得			入学諸費用 148,500円 （教材費32単位分を含む）		148,500円～
	科目履修生 中1種・高1種を同時取得の場合。 28単位修得	入学諸費用 188,000円 ＝48,000円＋ （5,000円×28単位）				188,000円～ （教材費を含まず）

② 学芸員コース

学生の種類	1学年	2学年	3学年	4学年	合計
正科生 3学年編入学			入学諸費用 148,500円 （教材費32単位分を含む）	年度授業料等 108,500円 （教材費32単位分を含む）	317,000円～
			博物館実習費60,000円～		

③ 司書教諭コース

学生の種類		1学年	2学年	3学年	4学年	合計
すでに教員免許状を取得していることを前提とする	科目履修生 10単位修得	入学諸費用 98,000円 ＝48,000円＋ （5,000円×10単位）				98,000円～ （教材費を含まず）

※正科生として入学し，　単位を修得することも可能です。

3. 目的を達成した（卒業・教職）学生の履修モデル

■法学部法律学科　３学年編入学　卒業　50代　男性　無職　千葉県

編入時の認定単位：総合教育科目20単位，外国語科目（英語）8単位，専門教育科目（選択）32単位，合計60単位

	東京スクーリング	夏期スクーリング	科目修得試験	
３年次	民法Ⅴ（併用）	体育実技Ⅰ 民法Ⅰ（併用） 民法Ⅲ（併用）	保健体育講義Ⅰ 憲法 民法Ⅱ 商法Ⅱ 民事訴訟法 国際金融論	入学金＋基本学費　148,500円 スクーリング受講料　40,000円 計　188,500円 10科目　34単位
４年次	民法Ⅳ（併用） 商法Ⅲ（併用）	経済学説史（併用） 日本経済論（併用）	商法Ⅰ 刑法Ⅰ 刑法Ⅱ 国際私法	基本学費　108,500円 スクーリング受講料　40,000円 計　148,500円 8科目　32単位 計　66単位

２年間総額　337,000円

■文理学部哲学専攻　１学年入学　卒業　30代　女性　会社員　愛知県

	メディア授業	地方スクーリング	東京スクーリング	夏期スクーリング	科目修得試験	
１年次	歴史学① 歴史学② 法学① 法学② 英語Ⅱ（併用）		体育実技Ⅰ	西洋思想史Ⅰ（併用） 東洋思想史Ⅰ（併用）	哲学 政治学 英語Ⅰ 保健体育講義Ⅰ 哲学基礎講読	入学金＋基本学費　148,500円 スクーリング受講料　30,000円 メディア受講料　100,000円 計　278,500円 11科目　34単位
２年次		経済開発論（併用）		倫理学概論（併用） 憲法（併用）	心理学 英語基礎 日本思想史Ⅰ 日本史入門 生涯学習論	基本学費　108,500円 スクーリング受講料　33,000円 計　141,500円 8科目　28単位
３年次	英語Ⅲ（併用）	哲学演習Ⅰ① 日本史概説（併用）	哲学概論（併用） 哲学特殊講義（併用）	宗教学基礎講読（併用） 宗教学概論（併用） 哲学演習Ⅰ②	倫理学基礎講読 西洋思想史Ⅱ 考古学入門 簿記論Ⅰ	基本学費　108,500円 スクーリング受講料　76,000円 メディア受講料　20,000円 卒業論文指導費　5,000円 計　209,500円 11科目　40単位
４年次		史学概論（併用）	哲学演習Ⅱ①	科学哲学（併用） 哲学演習Ⅱ②	東洋史概説	基本学費　108,500円 スクーリング受講料　43,000円 卒業論文　20,000円 計　171,500円 4科目　14単位 卒業論文　8単位 計　124単位

４年間総額　801,000円

■経済学部経済学科　１学年入学　免許＋卒業　20代　男性　無職　神奈川県

	メディア授業	昼間スクーリング（前期・後期）	夜間スクーリング	東京スクーリング	夏期スクーリング	科目修得試験	
１年次	歴史学① 法学① 法学② 経済学①			英語Ⅰ① 英語Ⅱ（併用） 経済史総論① 経済学概論①	歴史学② 経済学② 英語Ⅰ② 体育実技Ⅰ 経済史総論② 経済学概論②		入学金＋基本学費　148,500円 スクーリング受講料　100,000円 メディア受講料　80,000円 計　328,500円 8科目　25単位
２年次		哲学 心理学 保健体育講義Ⅰ 日本経済史 日本経済論 財政学総論 地方財政論 情報概論 経済地理学		経済原論（併用） 国際政治論（併用）	政治学（併用） 英語Ⅲ（併用） 英語基礎（併用）		基本学費　108,500円 スクーリング受講料　226,000円 計　334,500円 14科目　49単位
３年次	教育制度論 教育の方法・技術論	経済学史 国際経済論 現代教職論 社会科・地理歴史科教育法Ⅰ 社会科・公民科教育法Ⅰ	生徒指導・進路指導論 教育相談 教育課程論	哲学概論（併用） 発達と学習 道徳教育の理論と方法 経済政策総論①	経済政策総論② 自然地理学概論（併用） 地誌学（併用） 教育原論 特別支援教育概論		基本学費　108,500円 スクーリング受講料　190,000円 メディア受講料　40,000円 計　338,500円 18科目　47単位
４年次	憲法（併用） 特別活動論 特別活動・総合的な学習の時間の指導法	社会科・地理歴史科教育法Ⅱ 社会科・公民科教育法Ⅱ	労働法①	英語Ⅳ① 人文地理学概論（併用）	英語Ⅳ② 労働法② 日本史概説（併用） 法律学概論（併用）	行政法Ⅰ 外国史概説	基本学費　108,500円 スクーリング受講料　90,000円 メディア受講料　60,000円 教育実習費（教職実践演習含む）　35,000円 介護等の体験　16,000円 計　309,500円 11科目　36単位 教育実習（事前・事後指導、教職実践演習含む）　7単位 計　161単位

４年間総額　1,311,000円

■文理学部文学専攻（英文学）　教職生　免許　20代　男性　無職　熊本県

	メディア授業	夏期スクーリング	科目修得試験	
３年次	教育の方法・技術論		英語学概説 英語文学概説 英米事情Ⅰ 英米事情Ⅱ 異文化間コミュニケーション概論 教育課程論 現代教職論 発達と学習 生徒指導・進路指導論 教育相談 英語科教育法Ⅰ	入学金＋基本学費　148,500円 メディア受講料　20,000円 計　168,500円 12科目　28単位
４年次	情報概論① 教育原論 教育制度論 特別活動・総合的な学習の時間の指導法	英作文Ⅰ 英作文Ⅱ スピーチコミュニケーションⅡ（併用） 情報概論② 道徳教育の理論と方法	法学 英語Ⅰ 保健体育講義Ⅰ 保健体育講義Ⅱ アメリカ文学史 スピーチコミュニケーションⅠ 英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅲ 英語科教育法Ⅳ 特別支援教育概論	基本学費　108,500円 スクーリング受講料　53,000円 メディア受講料　80,000円 教育実習費（教職実践演習含む）　35,000円 介護等の体験　16,000円 計　292,500円 18科目　40単位 教育実習（事前・事後指導、教職実践演習含む）　7単位 計　71単位

２年間総額　461,000円

※各スクーリングの開講講座は年度によって異なります。必ずしも上記のとおりに受講できるとは限りません。

17 日本大学教育憲章

日本大学は，本学の「目的及び使命」を理解し，本学の教育理念である
「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」，「自ら考える」及び
「自ら道をひらく」能力を身につけ，「日本大学マインド」を有する者を育成する。

日本大学マインド

◎日本の特質を理解し伝える力
日本文化に基づく日本人の気質，感性及び価値観を身につけ，
その特質を自ら発信することができる。

◎多様な価値を受容し，自己の立場・役割を認識する力
異文化及び異分野の多様な価値を受容し，地域社会，日本及び世界の中での
自己の立ち位置や役割を認識し，説明することができる。

◎社会に貢献する姿勢
社会に貢献する姿勢を持ち続けることができる。

「自主創造」の3つの構成要素及びその能力

【自ら学ぶ】

◎豊かな知識・教養に基づく高い倫理観
豊かな知識・教養を基に倫理観を高めることができる。

◎世界の現状を理解し，説明する力
世界情勢を理解し，国際社会が直面している問題を説明することができる。

【自ら考える】

◎論理的・批判的思考力
得られる情報を基に論理的な思考，批判的な思考をすることができる。

◎問題発見・解決力
事象を注意深く観察して問題を発見し，解決策を提案することができる。

【自ら道をひらく】

◎挑戦力
あきらめない気持ちで新しいことに果敢に挑戦することができる。

◎コミュニケーション力
他者の意見を聴いて理解し，自分の考えを伝えることができる。

◎リーダーシップ・協働力
集団のなかで連携しながら，協働者の力を引き出し，その活躍を支援することができる。

◎省察力
謙虚に自己を見つめ，振り返りを通じて自己を高めることができる。

平成 28 年 12 月制定

18 日本大学通信教育部教育方針

【入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）】

日本大学通信教育部は，学術を社会に普及するための開かれた教育の場として，教育の機会均等を図り，生涯学習社会の実現に向け，次に掲げる者を積極的に受け入れるものとします。

① 日本大学の教育理念を深く理解し，賛同することのできる者
② 他者の人格を尊重しつつ行為のできる者
③ 人格の陶冶を目指しながら勉学意欲を継続することのできる者
④ 自立学習を継続することのできる者で，時間的・地理的制約によりその実現が困難な者
⑤ 自らの視点を習得し，問題点の発見とその解決策を見出す努力を惜しまない者
⑥ 基礎的なコミュニケーション能力を持ち，相手の考えを理解した上で，自らの考えを文章や言葉で表現し，伝えるための能力を身につけている者
⑦ 他者と協働して取り組むことができる協調性及び自主性を身につけている者
⑧ 課題解決に向けて他者と協働して取り組むことができる協調性及び主体性を有する者
⑨ コース履修に当たっては特に本通信教育部の入学者の受入れに関する方針を理解している者

■法学部

法学部は，高等学校などの教育課程において，充分な学力と知識及び判断力を身につけ，本学部で，法律学・政治学・行政学・経済学などの専門的な学びを通じて，リーガルマインドの修得を目指し，自ら学び，自ら考え，自ら道をひらくという「自主創造」を実践できる入学者を求めます。

■文理学部

文理学部は，各専攻において専門知の基礎を学ぶとともに，それを複合的に生かす実践力を身につけ，現代社会に貢献する人材の育成を目指しています。こうした本学部の目的をよく理解し，自己と社会を変え，世界的な課題の解決に取り組む，強い意欲と情熱のある学生を望んでいます。

■経済学部

経済学部は，経済学の修得を通じて，経済的諸現象に関する幅広い知識と教養を身につけ，広く国際社会で活躍できる人材の育成を目指しています。このような本学部の教育方針を理解し，現代の経済社会が直面する課題の解決に向け，他者と協力しながら，強い意欲を持って主体的に学修を継続できる学生を求めています。

■商学部

商学部は，商学を中心に経営・会計学等の修得を通じ，実学としてのビジネスに関する幅広い知識と教養を身につけ，社会環境の変化に対応できる人材の育成を目指しています。本学部の教育方針を理解し，日本のみならず世界のビジネス環境が直面する諸問題の解決に向け，誰とでも協働しながら，学修を自主的に継続できる学生を求めています。

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

本学ホームページの教育情報（https://www.dld.nihon-u.ac.jp/education_info/）を参照してください。

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

本学ホームページの教育情報（https://www.dld.nihon-u.ac.jp/education_info/）を参照してください。

個人情報の保護について

日本大学通信教育部では，入学志願書等の出願書類，科目修得試験申込み及び各種証明書申請手続き等により取得した学生本人及び保証人等の個人情報は，入学手続き，教育，研究及び学生支援の円滑な運営に必要な範囲で書類等の送付及び学生データの統計処理等に利用いたします。また，日本大学が設立する事業会社からの就学環境支援等を目的とした案内に利用いたします。

なお，通信教育部は，上記業務の一部を第三者機関に委託する場合があります。この場合，通信教育部及び当該業務の委託を受けた第三者機関は，利用目的の達成に必要な範囲を超えて学生の個人情報を利用することがないよう情報の管理については万全を期す所存です。

また，校友会に対して，準会員としての個人情報，あるいは卒業が決定した場合は，校友会員としての個人情報を提供いたしますので，御了承願います。

日本大学情報管理宣言

日本大学は，教育理念を実現し，社会的責任を全うし，本学の誇りを守るため，次の三つを宣言します。

1　日本大学は，業務・教学情報の外部持ち出しを許しません
1　日本大学は，情報を大学の重要な財産と考え，厳格に管理します
1　日本大学は，構成員に対し情報管理教育を徹底します

日本大学の構成員は，自らが関わる情報が，大学の誇りと構成員・校友の尊厳に関わるものであることを常に自覚し，良識を持って情報に接することを誓います。

日本大学通信教育部

（1・2号館）〒102−8005東京都千代田区九段南4−8−28
（3号館）　〒102−8251東京都千代田区五番町12−5
https://www.dld.nihon-u.ac.jp